

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年2月28日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼代表取締役社長 中川 順子
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-3241-9511
【届出の対象とした募集(売出)内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)
【届出の対象とした募集(売出)内国投資 信託受益証券の金額】	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)
	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)
	1兆円を上限とします。
	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)
	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)

(以上を総称して「ハイ・イールド ボンド オープン(野村SMA・EW向け)」または「各ファンド」という場合、あるいは個別に「ファンド」という場合があります。なお、「ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)」を「Aコース」、「ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)」を「Bコース」という場合があります。また、「ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)」を「ハイ・イールド ボンド Aコース(野村SMA・EW向け)」、「ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)」を「ハイ・イールド ボンド Bコース(野村SMA・EW向け)」という場合があります。)

ファンドは、SMA(セパレートリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。ファンドを購入できる投資者については、後述の「第二部 ファンド情報 第2 管理及び運営 1 申込(販売)手続等」をご参照ください。

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託・受益権(以下「受益権」といいます。)

信用格付

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(「社振法」といいます。以下同じ。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託者である野村アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

(3)【発行(売出)価額の総額】

各ファンドにつき1兆円を上限とします。

(4)【発行(売出)価格】

取得申込日の翌営業日の基準価額 とします。

「基準価額」とは、純資産総額をその時の受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口あたりの価額で表示されます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

(5) 【申込手数料】

ありません。

(6) 【申込単位】

1円以上1円単位（当初元本1口＝1円）

なお、販売会社や申込形態によっては、申込単位が上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(7) 【申込期間】

2020年2月29日から2021年2月26日まで

* なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

(8) 【申込取扱場所】

ファンドの申込取扱場所(以下「販売会社」といいます。)については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

取得申込日から起算して6営業日目までに申込代金を申込みの販売会社にお支払いください。なお、販売会社が別に定める所定の方法により、上記の期日以前に申込代金をお支払いいただく場合があります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

各取得申込日の発行価額の総額は、各販売会社によって、追加信託が行なわれる日に、「委託者」（または「委託会社」といいます。）の指定する口座を經由して、「受託者」（または「受託会社」といいます。）の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10) 【払込取扱場所】

申込代金は申込みの販売会社にお支払いください。払込取扱場所についてご不明の場合は、下記の照会先ま

でお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

(1 1) 【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権に係る振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

(1 2) 【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

各ファンドは、SMA（セパレトリー・マネージド・アカウント）に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。

米国の米国ドル建て高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

各ファンドは、「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」を親投資信託（「マザーファンド」といいます。）とするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

為替ヘッジを行なう「Aコース」と為替ヘッジを行なわない「Bコース」があります。

信託金の限度額

受益権の信託金限度額は、各ファンドにつき4,000億円です。ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

<商品分類>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

なお、ファンドに該当する商品分類及び属性区分は下記の表中に網掛け表示しております。

（ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け））

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式
		債券
	海外	不動産投信
追加型	内外	その他資産 ()
		資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
--------	------	--------	------	-------

株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
	年2回	日本		
	年4回	北米	ファミリーファンド	あり (フルヘッジ)
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月)	欧州		
	年12回 (毎月)	アジア		
	日々	オセアニア		
不動産投信	その他 ()	中南米	ファンド・オブ・ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券 (債券 社債 低格付債))		アフリカ		
		中近東 (中東)		
資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

ファンドは、ファミリーファンド方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

（ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け））

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式
	海外	債券
追加型	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
--------	------	--------	------	-------

株式 一般 大型株 中小型株	年1回 年2回 年4回	グローバル 日本		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月) 年12回 (毎月)	北米 欧州 アジア オセアニア	ファミリーファンド	あり ()
不動産投信	日々 その他 ()	中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファンド・オブ・ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券 (債券 社債 低格付債))				
資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型				

ファンドは、ファミリーファンド方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。

なお、下記一般社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。

《一般社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》 <http://www.toushin.or.jp/>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（2013年2月21日現在）

< 商品分類表定義 >

[単位型投信・追加型投信の区分]

- (1) 単位型投信...当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
- (2) 追加型投信...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

[投資対象地域による区分]

- (1) 国内...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外...目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[投資対象資産による区分]

- (1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

- (3)不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4)その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5)資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[独立した区分]

- (1)MMF(マネー・マネージメント・ファンド)...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
- (2)MRF(マネー・リザーブ・ファンド)...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
- (3)ETF...投資信託及び投資法人に関する法律施行令(平成12年政令480号)第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法(昭和32年法律第26号)第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

[補足分類]

- (1)インデックス型...目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2)特殊型...目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

< 属性区分表定義 >

[投資対象資産による属性区分]

株式

- (1)一般...次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- (2)大型株...目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- (3)中小型株...目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

債券

- (1)一般...次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- (2)公債...目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (3)社債...目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (4)その他債券...目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- (5)格付等クレジットによる属性...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記(1)から(4)に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

不動産投信...これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

その他資産...組入れている資産を記載するものとする。

資産複合...以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

- (1)資産配分固定型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。
- (2)資産配分変更型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるもの若しくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

[決算頻度による属性区分]

- (1)年1回...目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
- (2)年2回...目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
- (3)年4回...目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。
- (4)年6回(隔月)...目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。
- (5)年12回(毎月)...目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。
- (6)日々...目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。
- (7)その他...上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

[投資対象地域による属性区分(重複使用可能)]

- (1)グローバル...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。
- (2)日本...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるもの

のをいう。

- (3)北米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4)欧州...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (5)アジア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (6)オセアニア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (7)中南米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (8)アフリカ...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (9)中近東(中東)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (10)エマージング...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

[投資形態による属性区分]

- (1)ファミリーファンド...目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。
- (2)ファンド・オブ・ファンズ...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

[為替ヘッジによる属性区分]

- (1)為替ヘッジあり...目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。
- (2)為替ヘッジなし...目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

[インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分]

- (1)日経225
- (2)TOPIX
- (3)その他の指数...上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

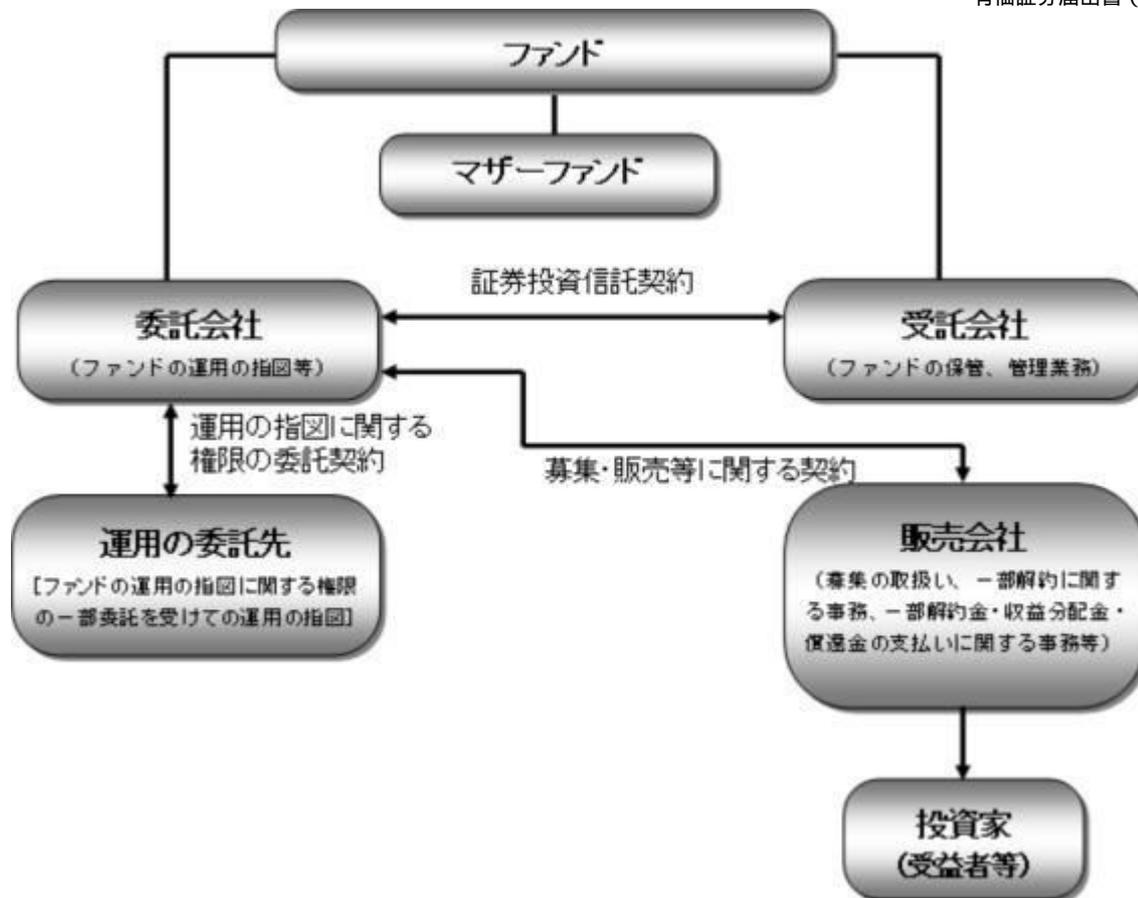
[特殊型]

- (1)ブル・ベア型...目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2)条件付運用型...目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資又はその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。
- (3)ロング・ショート型/絶対収益追求型...目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。
- (4)その他型...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(3)に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

(2) 【ファンドの沿革】

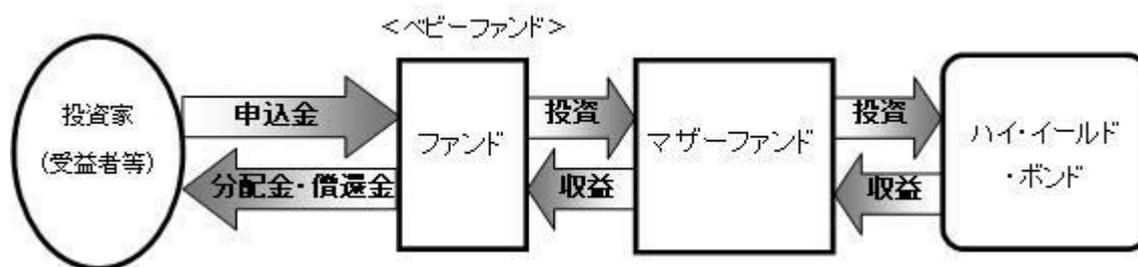
2015年4月1日 信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】



《ファミリーファンド方式について》

ファンドは、ファミリーファンド方式で運用します。ファミリーファンド方式とは、投資家の皆様が投資した資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、実質的な運用を行なうしくみをいいます。



ファンド	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）
マザーファンド (親投資信託)	ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド	
委託会社(委託者)	野村アセットマネジメント株式会社	
受託会社(受託者)	三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	
運用の委託先	NOMURA CORPORATE RESEARCH AND ASSET MANAGEMENT INC. (ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク)	

委託会社の概況(2020年1月末現在)

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・本店の所在の場所

東京都中央区日本橋一丁目12番1号

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

1959年12月1日 野村証券投資信託委託株式会社として設立

1997年10月1日 投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

2000年11月1日 野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	5,150,693株	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

米国ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資し、インカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得をめざします。

・ハイ・イールド・ボンドのうち、主にBB格～B格相当の格付をもつ債券に投資します。なお、一部格付をもたない債券（BB格～B格相当の格付と判断される債券も含まれます）に投資する場合があります。

ハイ・イールド・ボンドとは...

債券などの格付機関(S&P社、ムーディーズ社など)によって格付される債券の信用度でBB格以下に格付されている事業債をいいます。

格付とは、債券などの元本および利息が償還まで当初契約の定めどおり返済される確実性の程度を評価したものをいいます。信用度の低い格付をもつ債券ほど、元本および利息が償還まで定めどおりに返済される確実性が低く(信用リスクが大きく)なります。

信用度	S&P社の場合	ムーディーズ社の場合	
高い	AAA	Aaa	
	AA	Aa	
	A	A	
	BBB	Baa	
	BB	Ba	} 主な投資対象
	B	B	
	CCC	Caa	
	CC	Ca	
	C	C	
低い	D		

1つの格付内に等級を設けるため、付加的な記号が用いられることがあります。たとえば、BBB格における平均以上あるいは平均以下の格付を表すために、S&P社ではBBB+、BBB-のように、ムーディーズ社ではBaa1、Baa3のように表記しています。

業種分類を考慮した分散投資と企業調査を重視した銘柄選定を基本とします。

- ・ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、企業調査およびクレジット分析により投資機会をとらえ、投資リスクを抑えることを目指します。
- ・ポートフォリオによる分散投資によりリスクの低減を図ることを基本とします。
- ・同一発行体の発行するハイ・イールド・ボンドへの投資割合は、原則としてマザーファンドの信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ・投資対象を40業種に分類し、1業種あたりの投資割合は、原則としてマザーファンドの信託財産の純資産総額の15%以内とします。
- ・組入債券がデフォルトした場合、速やかに売却することを基本とします。

Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。

Aコース	Bコース
為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース	ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (円ヘッジベース) ¹
Bコース	ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (円換算ベース) ²

1 「ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (円ヘッジベース)」は、ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (USドルベース) をもとに、委託会社がヘッジコストを考慮して円換算したものです。

2 「ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (円換算ベース)」は、ICE BofA US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index (USドルベース) をもとに、委託会社が円換算したものです。

マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク（NCRAM社）に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託する範囲	海外の公社債（含む短期金融商品）の運用
委託先名称	NOMURA CORPORATE RESEARCH AND ASSET MANAGEMENT INC. (ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク)
委託先所在地	米国ニューヨーク州ニューヨーク市

運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。

(参考)NCRAM社について

Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.(ノムラ・コーポレート・リサーチ

チ・アンド・アセット・マネージメント・インク：NCRAM社)は、1991年3月に設立された米国に登録されている野村グループの投資顧問会社であり、米国公社債やエマージング・マーケット債で構成されるポートフォリオの運用を行なっています。

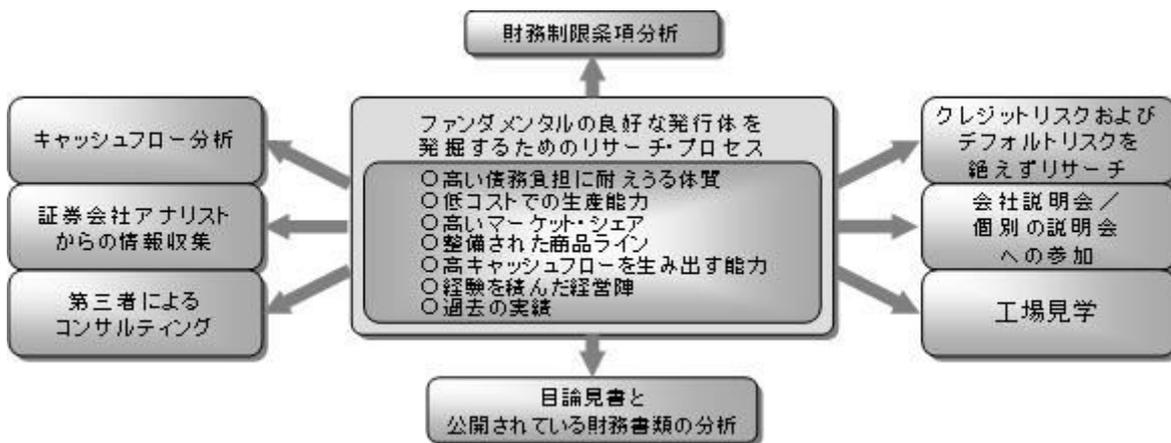
NCRAM社は、クレジットリスクを有する債券の運用において充実した体制を整えています。

NCRAM社はファンダメンタルズの良い企業を発掘するために、リサーチ中心のボトム・アップ・アプローチを採用しています。

デフォルトによる損失を最小限に抑えることを目的にクレジット・リスク管理を徹底し、保守的なポートフォリオ運用を行なっています。

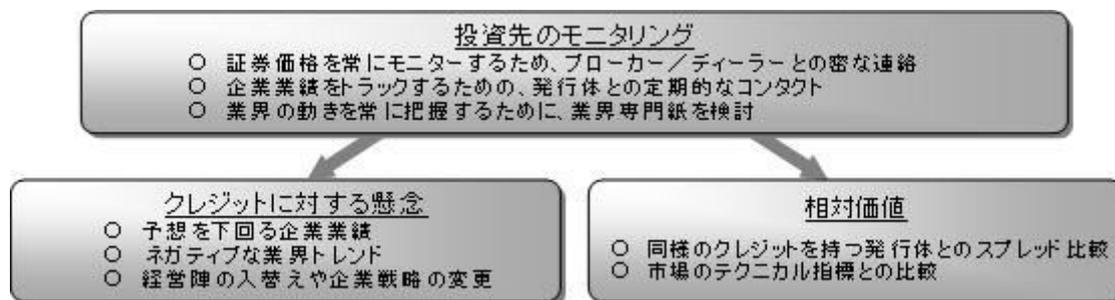
NCRAM社のリサーチプロセス

NCRAM社の信用分析は、企業の業務内容とキャッシュフローを生み出す能力に焦点を当てています。



投資先のモニタリングと規律ある売却

投資先は継続的にモニターされ、状況に応じてポートフォリオを修正します。



資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

(2) 【投資対象】

「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、実質的に米国の米国ドル通貨表示の高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）に投資します。なお、債券に直接投資する場合があります。

投資の対象とする資産の種類（信託約款）

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、下記「(5)投資制限 および 」に定めるものに限り、）に係る権利

ハ．約束手形（イに掲げるものに該当するものを除きます。）

ニ．金銭債権（イ及びハに掲げるものに該当するものを除きます。）

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

有価証券の指図範囲等(信託約款)

委託者は、信託金を、野村アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託であるハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1．国債証券

2．地方債証券

3．特別の法律により法人の発行する債券

4．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）

5．特定目的会社に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

6．投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

7．転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債 の新株予約権に限り、）の行使により取得した株券、株主割当または社債権者割当等により取得した株券、新株の引受権を表示する証券もしくは証書または新株予約権証券

転換社債型新株予約権付社債とは、新株予約権付社債のうち会社法第236 条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含みます。）をいいます。

8．コマーシャル・ペーパー

9．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの

10．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

11．投資証券、新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

12．外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

13．受益証券発行信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定めるものをいいます。）

14．外国法人が発行する譲渡性預金証書

15．外国の者に対する権利で、貸付債権信託受益権であって第13号の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

16．抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）

なお、第7号の証券または証書ならびに第9号および第13号の証券または証書のうち第7号の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第1号から第6号までの証券ならびに第9号および第13号の証券または証書のうち第1号から第6号までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第10号および第11号の証券ならびに第13号の証券または証書のうち第10号および第11号の証券の性質を有するものを以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲等(信託約款)

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（上記 に掲げるものを除く。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって、金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの
7. 日本の会社に類似した性質を有しない外国の者が発行する債務証券または証書（前項に定める証券または証書を除きます。）

その他の投資対象

1. 先物取引等
2. スワップ取引

(参考)マザーファンドの概要

「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」

運 用 の 基 本 方 針

約款第11条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

1.基本方針

この投資信託は、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

2.運用方法

(1)投資対象

米国の米国ドル通貨表示の高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を主要投資対象とします。

(2)投資態度

主として米国ドル通貨表示のハイ・イールド・ボンドに投資し、インカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得をめざします。

ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、企業調査およびクレジット分析により投資機会をとらえ、投資リスクを抑えることを目指します。

ポートフォリオによる分散投資によりリスクの低減を図ることを基本とします。

組入債券がデフォルトした場合、速やかに売却することを基本とします。

同一発行体の発行するハイ・イールド・ボンドへの投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の5%以内とします。

投資対象を40業種に分類し、1業種あたりの投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の15%以内とします。

株式への直接投資は行ないません。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

NOMURA CORPORATE RESEARCH AND ASSET MANAGEMENT INC.に当ファンドの海外の公社債(含む短期金融商品)の運用の指図に関する権限を委託します。

(3)投資制限

株式への投資は転換社債を転換および新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、)を行使したものおよび社債権者割当等より取得した株券に限り、

株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。

有価証券先物取引等は約款第14条の範囲で行ないます。

スワップ取引は約款第15条の範囲で行ないます。

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

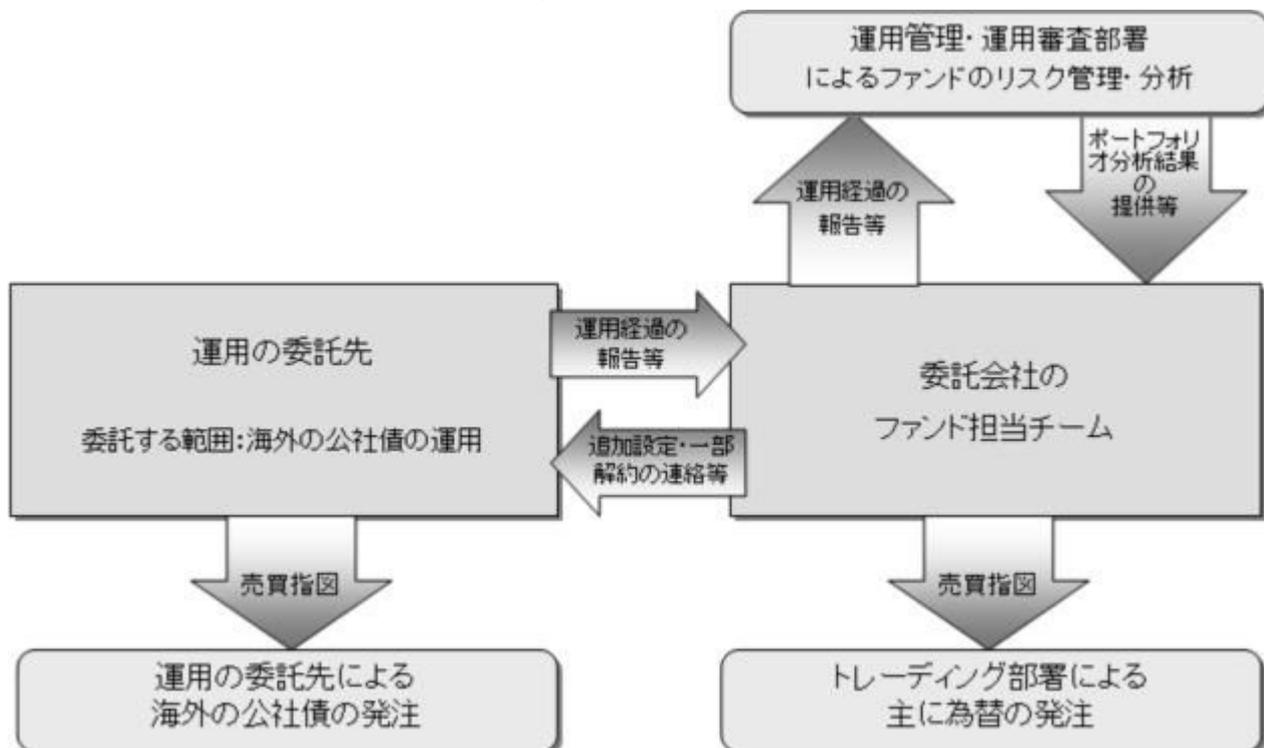
同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等(同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。)の利用は行ないません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

(3)【運用体制】

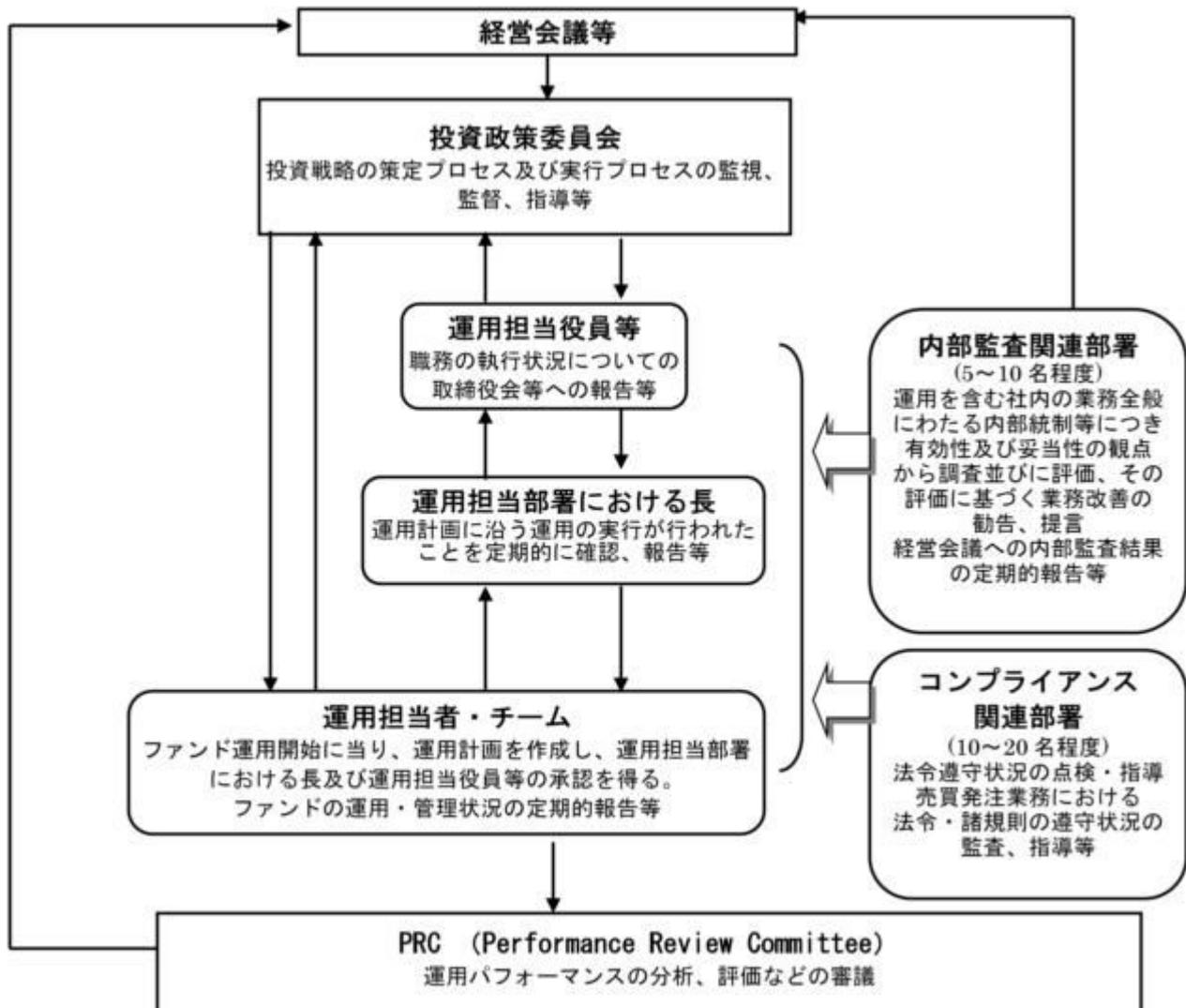
ファンドの運用体制は以下の通りです。



運用体制はマザーファンドを含め記載されております。

当社では、ファンドの運用に関する社内規程として、運用担当者に関する規程並びにスワップ取引、信用リスク管理、資金の借入、外国為替の予約取引等、信用取引等に関して各々、取扱い基準を設けております。

ファンドを含む委託会社における投資信託の内部管理及び意思決定を監督する組織等は以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行いません。

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。

収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。

留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの決算日

原則として**毎年12月6日**（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

（５）【投資制限】

運用の基本方針 2. 運用方法 （３）投資制限（信託約款）

- ・ 株式への投資は転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）を行使したものおよび社債権者割当等より取得した株券に限ります。
- ・ 株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。
- ・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
- ・ 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ・ 同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- ・ 一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。
- ・ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

投資する株式の範囲(信託約款)

- () 委託者が投資することを指図する株式は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- () 上記()の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託者が投資することを指図することができるものとします。

先物取引等の運用指図・目的・範囲(信託約款)

- () 委託者は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるも

のをいいます。以下同じ。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号八に掲げるものをいいます。以下同じ。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

1. 先物取引の売建およびコール・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする有価証券(以下「ヘッジ対象有価証券」といいます。)の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象有価証券の組入可能額(組入ヘッジ対象有価証券を差し引いた額)に信託財産が限月までに受取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、組入抵当証券および組入指定金銭信託の受益証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、且つ信託財産が限月までに受取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに「(2)投資対象」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付の指図は、本条で規定する全オプション取引に係る支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

()委託者は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建およびコール・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、為替の売予約と合せてヘッジ対象とする外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。)、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の時価総額とマザーファンドの信託財産に属するヘッジ対象とする外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産純資産総額に占めるヘッジ対象とする外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、為替の買予約と合せて、外貨建有価証券の買付代金等実需の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付の指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有外貨建資産の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、且つ本条で規定する全オプション取引に係る支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

()委託者は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建およびコール・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象とする金利商品(信託財産が1年以内に受け取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに「(2)投資対象」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用されているものをいい、以下「ヘッジ対象金利商品」といいます。)の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに「(2)投資対象」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用している額(以下本号において「金融商品運用額等」と

いいます。)の範囲内とします。ただし、ヘッジ対象金利商品が外貨建て、信託財産の外貨建資産組入可能額(約款上の組入可能額から保有外貨建資産の時価総額を差引いた額をいいます。以下同じ。)に信託財産が限月までに受取る外貨建組入公社債および組入外国貸付債権信託受益証券ならびに外貨建組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額が当該金融商品運用額等の額より少ない場合には外貨建資産組入可能額に信託財産が限月までに受取る外貨建組入有価証券に係る利払金および償還金等を加えた額を限度とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付の指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点のヘッジ対象金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、且つ本条で規定する全オプション取引に係る支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引の運用指図・目的・範囲(信託約款)

- () 委託者は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。
- () スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- () スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額(以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。)が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- () 上記()においてマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- () スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が提示する価額、価格情報会社が提供する価額等、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価するものとします。
- () 委託者は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

有価証券の貸付の指図および範囲(信託約款)

- () 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 - 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- () 上記()に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- () 委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行なうものと

します。

公社債の借入れ(信託約款)

- ()委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行なうにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行なうものとします。
- ()上記()の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- ()信託財産の一部解約等の事由により、上記()の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- ()上記()の借入れにかかる品貸料は信託財産中から支弁します。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限(信託約款)

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引の指図(信託約款)

- ()委託者は、信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- ()委託者は、外国為替の売買の予約取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

資金の借入れ(信託約款)

- ()委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。
- ()一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- ()収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ()借入金の利息は信託財産中より支弁します。

3【投資リスク】

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

[債券価格変動リスク]

債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。特にファンドが実質的に投資を行なうハイ・イールド・ボンド等の格付の低い債券については、格付の高い債券に比べ、価格が大きく変動する可能性や組入債券の元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高いと想定されます。

[為替変動リスク]

「Bコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

「Aコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

ファンドのベンチマークは、市場の構造変化等によっては今後見直す場合があります。また、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。

投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

委託会社におけるリスクマネジメント体制

リスク管理関連の委員会

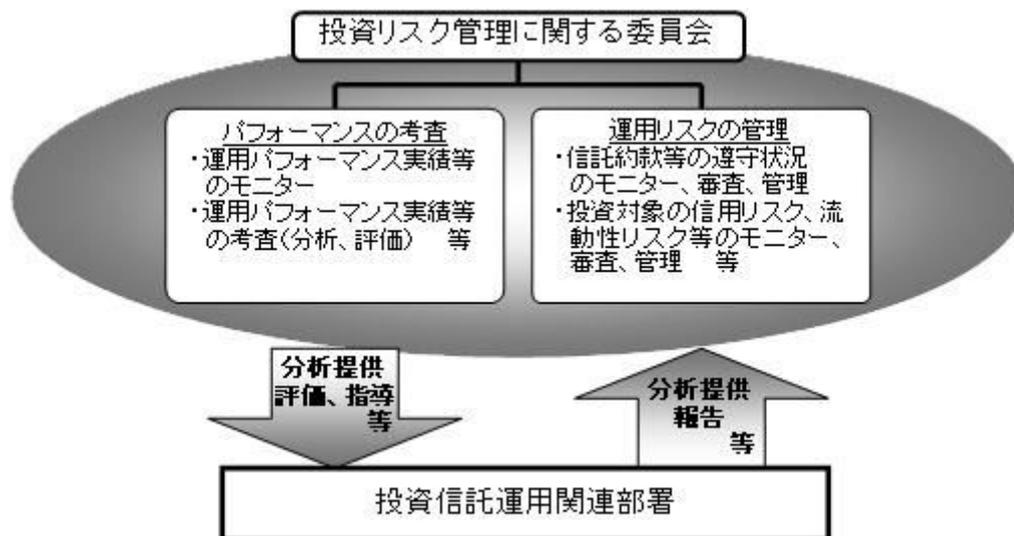
パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査（分析、評価）の結果の報告、審議を行ないます。

運用リスクの管理

投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

リスク管理体制図



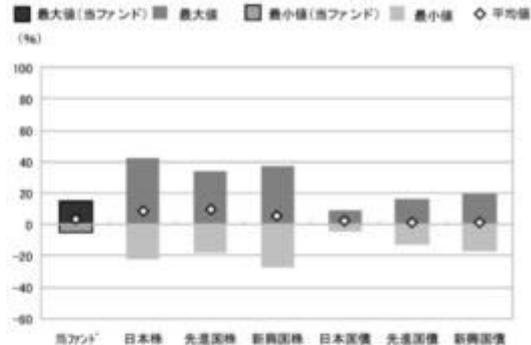
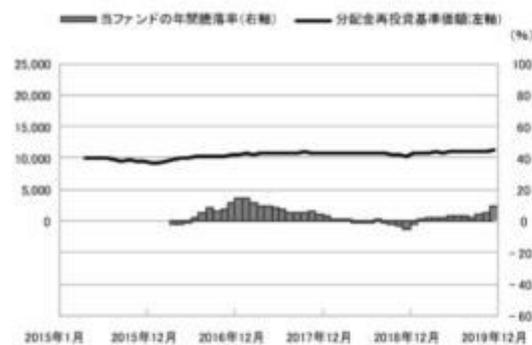
投資リスクに関する管理体制等は今後変更となる場合があります。

リスクの定量的比較

(2015年1月末～2019年12月末:月次)

〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉 〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉

●Aコース



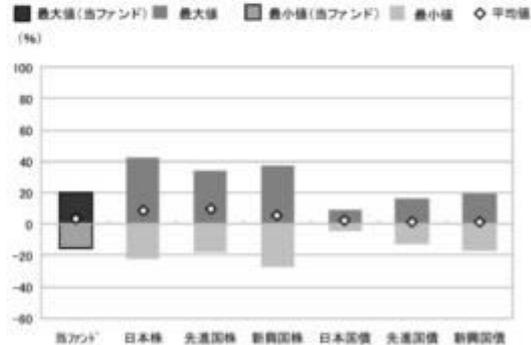
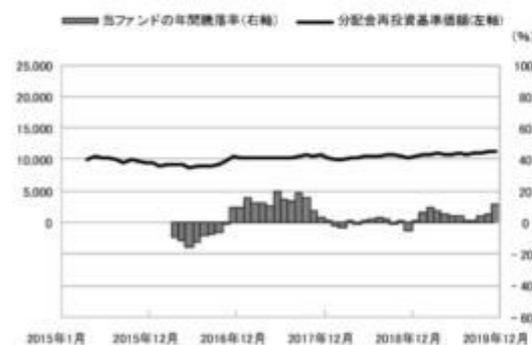
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	14.9	41.9	34.1	37.2	9.3	15.9	19.3
最小値(%)	△ 5.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値(%)	3.6	8.2	9.2	5.6	2.1	1.7	1.1

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。設定日前日を10,000として指数化し、設定日の属する月末より表示しております。
- * 年間騰落率は、2016年4月から2019年12月の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2015年1月から2019年12月の5年間(当ファンドは2016年4月から2019年12月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉 〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉

●Bコース



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	19.9	41.9	34.1	37.2	9.3	15.9	19.3
最小値(%)	△ 15.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値(%)	3.4	8.2	9.2	5.6	2.1	1.7	1.1

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。設定日前日を10,000として指数化し、設定日の属する月末より表示しております。
- * 年間騰落率は、2016年4月から2019年12月の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2015年1月から2019年12月の5年間(当ファンドは2016年4月から2019年12月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<p><代表的な資産クラスの指数></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み) ○先進国株：MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース) ○新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース) ○日本国債：NOMURA-BPI国債 ○先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) ○新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
<p style="text-align: center;">■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■</p> <p>○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。</p> <p>○MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。</p> <p>○NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。</p> <p>○FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。</p> <p>○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)」(ここでは「指数」とよびます)についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価格や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM)がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC(ここでは「JPMSLLC」と呼びます)、「指数スポンサー」は、指数に関する証券、金融商品または取引(ここでは「プロダクト」と呼びます)についての勧助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMSLLCはNASDAQ, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPISL J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。</p>

(出所:株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込手数料はありません。

(2)【換金(解約)手数料】

換金手数料はありません。

(3)【信託報酬等】

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.232%(税抜年1.12%)の率(「信託報酬率」といいます。)を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

信託報酬率の配分については次の通り(税抜)とします。

<委託会社>	<販売会社>	<受託会社>
年1.02%	年0.05%	年0.05%

また、マザーファンドの運用の委託先が受ける報酬は、マザーファンドを投資対象とする投資信託の委託者が受ける報酬から、当該投資信託の信託報酬支払いのとき支払うものとし、その報酬額は、当該

マザーファンドの信託財産の平均純資産総額（月末純資産総額の平均値）に、年0.50%の率を乗じて得た額とします。

支払先の役務の内容

< 委託会社 >	< 販売会社 >	< 受託会社 >
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

（４）【その他の手数料等】

ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息等は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

ファンドに関する組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用はファンドから支払われます。

監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときにファンドから支払われます。

* これらの費用等の中には、運用状況等により変動するものがあり、事前に料率、上限額等を表示することができないものがあります。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

< 収益分配金に対する課税 >

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315% (国税(所得税及び復興特別所得税) 15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

< 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対する課税 >

換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により20.315% (国税 15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限りです。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 ^(注2)	《配当所得》
--------	---------------------------------	--------

・特定公社債 ^(注1) の利子 ・公募公社債投資信託の収益 分配金	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の ・譲渡益 ・譲渡損	・上場株式の配当 ・公募株式投資信託の収益 分配金
--	--	---------------------------------

(注1)「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、2015年12月31日以前に発行された公社債（同族会社が発行した社債を除きます。）などの一定の公社債をいいます。

(注2)株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（国税15.315%）の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金（解約）時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金（解約）時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象（配当所得）となります。

なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

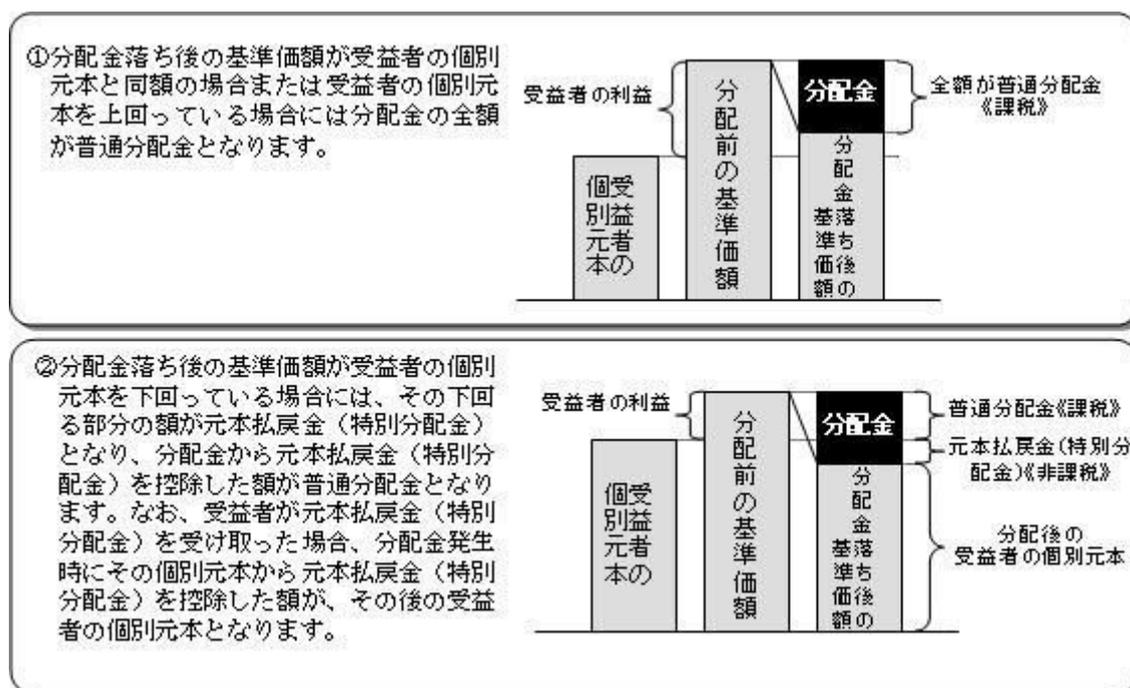
追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受

益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

* 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

* 税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（2019年12月末現在）が変更になる場合があります。

5【運用状況】

以下は2019年12月30日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	6,612,454,344	100.84
現金・預金・その他資産（負債控除後）		55,668,170	0.84
合計（純資産総額）		6,556,786,174	100.00

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
-------	------	---------	---------

親投資信託受益証券	日本	7,413,383,665	99.09
現金・預金・その他資産(負債控除後)		67,411,280	0.90
合計(純資産総額)		7,480,794,945	100.00

(参考)ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
社債券	アメリカ	24,320,386,982	94.04
現金・預金・その他資産(負債控除後)		1,539,903,334	5.95
合計(純資産総額)		25,860,290,316	100.00

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	日本	親投資信託受益証券	ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド	821,198,473	7.8807	6,471,618,807	8.0522	6,612,454,344	100.84

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.84
合計	100.84

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	日本	親投資信託受益証券	ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド	920,665,615	7.8819	7,256,661,228	8.0522	7,413,383,665	99.09

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.09
合計	99.09

(参考)ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	アメリカ	社債券	SPRINT CAPITAL CORP	1,250,000	13,404.42	167,555,313	13,386.58	167,332,358	8.75	2032/3/15	0.64
2	アメリカ	社債券	ALTICE FRANCE SA	1,375,000	11,752.80	161,601,000	11,797.96	162,222,068	7.375	2026/5/1	0.62
3	アメリカ	社債券	HCA INC	1,175,000	12,270.72	144,180,960	12,496.41	146,832,860	5.625	2028/9/1	0.56
4	アメリカ	社債券	TRANSDIGM INC	1,200,000	10,956.00	131,472,000	11,140.71	133,688,618	5.5	2027/11/15	0.51
5	アメリカ	社債券	SHEA HOMES LP/FNDG CP	1,150,000	11,257.29	129,458,835	11,179.66	128,566,168	5.875	2023/4/1	0.49
6	アメリカ	社債券	CCO HOLDINGS LLC	1,075,000	11,601.08	124,711,710	11,573.48	124,414,912	5.75	2026/2/15	0.48
7	アメリカ	社債券	BMC EAST LLC	1,075,000	11,425.32	122,822,272	11,398.78	122,536,957	5.5	2024/10/1	0.47
8	アメリカ	社債券	ALTICE FINANCING SA	1,050,000	11,235.11	117,968,730	11,170.57	117,291,020	6.625	2023/2/15	0.45
9	アメリカ	社債券	CINEMARK USA INC	1,025,000	11,161.42	114,404,606	11,123.75	114,018,522	5.125	2022/12/15	0.44
10	アメリカ	社債券	NIELSEN FINANCE LLC/CO	1,025,000	11,058.71	113,351,802	11,030.28	113,060,387	5	2022/4/15	0.43
11	アメリカ	社債券	CENTURYLINK INC	975,000	11,599.66	113,096,733	11,545.21	112,565,833	5.8	2022/3/15	0.43
12	アメリカ	社債券	SERVICE CORP INTL	875,000	12,147.46	106,290,319	12,083.37	105,729,509	8	2021/11/15	0.40
13	アメリカ	社債券	CDW LLC/CDW FINANCE	900,000	11,414.78	102,733,042	11,471.86	103,246,769	5	2025/9/1	0.39
14	アメリカ	社債券	NETFLIX INC	900,000	11,188.81	100,699,335	11,435.59	102,920,390	4.875	2028/4/15	0.39
15	アメリカ	社債券	CSC HOLDINGS LLC	875,000	11,462.71	100,298,756	11,718.20	102,534,328	5.75	2030/1/15	0.39
16	アメリカ	社債券	SM ENERGY CO	950,000	9,668.67	91,852,365	10,776.95	102,381,039	6.75	2026/9/15	0.39
17	アメリカ	社債券	GRAY TELEVISION INC	875,000	11,421.63	99,939,263	11,661.01	102,033,913	5.875	2026/7/15	0.39
18	アメリカ	社債券	SPRINGLEAF FINANCE CORP	800,000	12,168.11	97,344,936	12,715.80	101,726,460	7.125	2026/3/15	0.39
19	アメリカ	社債券	J2 CLOUD LLC/GLOBAL INC	875,000	11,585.96	101,377,237	11,595.11	101,457,284	6	2025/7/15	0.39
20	アメリカ	社債券	VALEANT PHARMACEUTICALS	800,000	12,311.80	98,494,440	12,503.53	100,028,280	9	2025/12/15	0.38
21	アメリカ	社債券	VODAFONE GROUP PLC	775,000	12,621.04	97,813,114	12,849.57	99,584,177	7	2079/4/4	0.38
22	アメリカ	社債券	ELDORADA RESORTS INC	850,000	11,630.34	98,857,906	11,554.03	98,209,283	6	2025/4/1	0.37
23	アメリカ	社債券	BOYD GAMING CORP	825,000	11,688.68	96,431,630	11,784.27	97,220,257	6.375	2026/4/1	0.37
24	アメリカ	社債券	ALTICE FINANCING SA	800,000	11,659.64	93,277,192	11,770.57	94,164,628	7.5	2026/5/15	0.36
25	アメリカ	社債券	1011778 BC / NEW RED FIN	825,000	11,339.46	93,550,545	11,389.69	93,964,969	5	2025/10/15	0.36
26	アメリカ	社債券	NAVIENT CORP	800,000	11,236.91	89,895,295	11,736.50	93,892,044	5.875	2024/10/25	0.36
27	アメリカ	社債券	CENTENE ESCROW I CORP	800,000	11,489.55	91,916,458	11,674.71	93,397,709	5.375	2026/6/1	0.36
28	アメリカ	社債券	SUMMIT MATERIALS LLC/FIN	825,000	11,229.90	92,646,675	11,316.61	93,362,088	5.125	2025/6/1	0.36
29	アメリカ	社債券	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	800,000	11,339.46	90,715,680	11,538.85	92,310,874	5	2028/2/1	0.35
30	アメリカ	社債券	SIRIUS XM RADIO INC	775,000	11,695.53	90,640,357	11,880.13	92,071,074	5.5	2029/7/1	0.35

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
社債券	94.04
合 計	94.04

【投資不動産物件】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

該当事項はありません。

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

該当事項はありません。

（参考）ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

該当事項はありません。

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

該当事項はありません。

（参考）ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

2019年12月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間	(2015年12月 7日)	1,340	1,340	0.9549	0.9549
第2計算期間	(2016年12月 6日)	3,422	3,425	1.0268	1.0278
第3計算期間	(2017年12月 6日)	6,735	6,742	1.0834	1.0844

第4計算期間	(2018年12月 6日)	7,157	7,164	1.0543	1.0553
第5計算期間	(2019年12月 6日)	6,512	6,518	1.1089	1.1099
	2018年12月末日	6,829		1.0240	
	2019年 1月末日	6,923		1.0625	
	2月末日	6,673		1.0777	
	3月末日	6,739		1.0832	
	4月末日	6,886		1.0955	
	5月末日	6,952		1.0853	
	6月末日	6,452		1.1020	
	7月末日	6,562		1.1033	
	8月末日	6,380		1.1075	
	9月末日	6,448		1.1075	
	10月末日	6,479		1.1085	
	11月末日	6,316		1.1101	
	12月末日	6,556		1.1229	

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

2019年12月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間	(2015年12月 7日)	2,583	2,583	0.9869	0.9869
第2計算期間	(2016年12月 6日)	3,107	3,107	0.9971	0.9971
第3計算期間	(2017年12月 6日)	5,073	5,073	1.0601	1.0601
第4計算期間	(2018年12月 6日)	5,911	5,916	1.0593	1.0603
第5計算期間	(2019年12月 6日)	7,209	7,215	1.1061	1.1071
	2018年12月末日	5,723		1.0141	
	2019年 1月末日	5,890		1.0375	
	2月末日	6,093		1.0732	
	3月末日	6,170		1.0821	
	4月末日	6,142		1.1045	
	5月末日	6,180		1.0738	
	6月末日	6,454		1.0770	
	7月末日	6,573		1.0897	
	8月末日	6,642		1.0743	
	9月末日	6,821		1.0910	
	10月末日	7,159		1.1040	
	11月末日	7,260		1.1142	
	12月末日	7,480		1.1292	

【分配の推移】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	0.0000円
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	0.0010円
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	0.0010円
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	0.0010円
第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	0.0010円

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	0.0000円
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	0.0000円
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	0.0000円
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	0.0010円
第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	0.0010円

【収益率の推移】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

	計算期間	収益率
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	4.5%
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	7.6%
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	5.6%
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	2.6%
第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	5.3%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

	計算期間	収益率
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	1.3%
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	1.0%
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	6.3%
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	0.0%

第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	4.5%
--------	-------------------------	------

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

(4)【設定及び解約の実績】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	1,426,659,982	23,284,994	1,403,374,988
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	2,492,802,876	563,283,310	3,332,894,554
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	7,348,740,392	4,463,914,908	6,217,720,038
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	3,345,089,546	2,773,641,426	6,789,168,158
第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	2,552,332,780	3,468,326,371	5,873,174,567

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2015年 4月 1日～2015年12月 7日	3,098,438,674	481,091,999	2,617,346,675
第2計算期間	2015年12月 8日～2016年12月 6日	1,448,214,649	949,283,350	3,116,277,974
第3計算期間	2016年12月 7日～2017年12月 6日	3,588,918,557	1,919,614,617	4,785,581,914
第4計算期間	2017年12月 7日～2018年12月 6日	3,148,026,384	2,353,018,051	5,580,590,247
第5計算期間	2018年12月 7日～2019年12月 6日	2,896,331,889	1,958,775,807	6,518,146,329

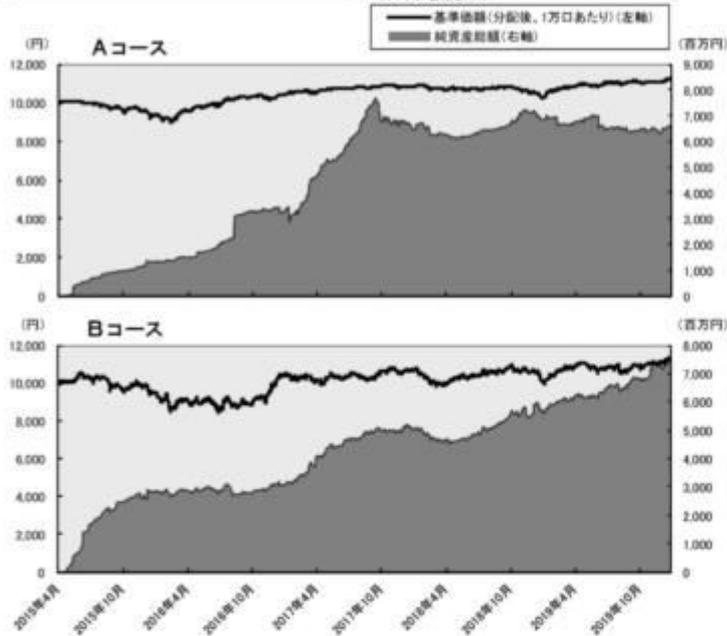
本邦外における設定及び解約の実績はありません。

参考情報

運用実績 (2019年12月30日現在)

基準価額・純資産の推移

(日次:設定来)



分配の推移

(1万口あたり、課税前)

Aコース	
2019年12月	10 円
2018年12月	10 円
2017年12月	10 円
2016年12月	10 円
2015年12月	0 円
設定来累計	40 円

Bコース	
2019年12月	10 円
2018年12月	10 円
2017年12月	0 円
2016年12月	0 円
2015年12月	0 円
設定来累計	20 円

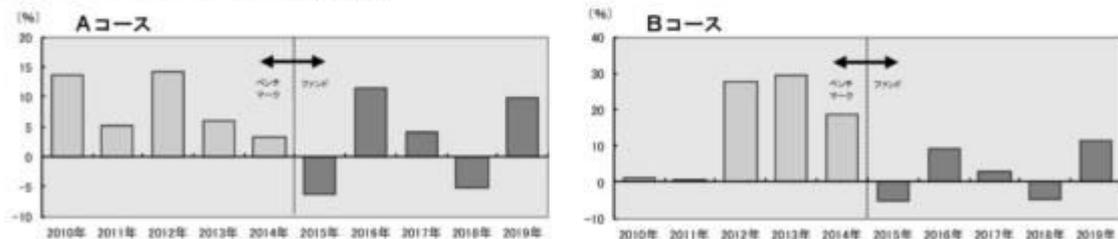
主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率(上位)

順位	銘柄	種類	投資比率(%)	
			Aコース	Bコース
1	SPRINT CAPITAL CORP	社債券	0.6	0.6
2	ALTICE FRANCE SA	社債券	0.6	0.6
3	HCA INC	社債券	0.6	0.6
4	TRANSDIGM INC	社債券	0.5	0.5
5	SHEA HOMES LP/FNDG CP	社債券	0.5	0.5
6	CCO HOLDINGS LLC	社債券	0.5	0.5
7	BMC EAST LLC	社債券	0.5	0.5
8	ALTICE FINANCING SA	社債券	0.5	0.4
9	CINEMARK USA INC	社債券	0.4	0.4
10	NIELSEN FINANCE LLC/CO	社債券	0.4	0.4

年間収益率の推移

(暦年ベース)



・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。

・2015年は設定日(2015年4月1日)から年末までのファンドの収益率。

・2010年から2014年はベンチマークの年間収益率。

・2019年は年初から運用実績作成基準日までのファンドの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ベンチマークの情報はあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込(販売)手続等】

- ・ファンドは、SMA(セパレトリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。ファンドの買付けの申込みを行なう投資家は、販売会社にSMA(セパレトリー・マネージド・アカウント)取引口座を開設した者等に限るものとします。
当該契約については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約を使用することがあります。
- ・申込期間中の各営業日に受益権の募集が行なわれます。
- ・取得申込の受付については、午後3時までに取得申込みが行われかつ当該取得申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込み分とします。

ファンドの申込(販売)手続きについてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社
サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

- ・販売の単位は、1円以上1円単位(当初元本1口=1円)とします。
- ・受益権の販売価額は、取得申込日の翌営業日の基準価額とします。
- ・取得申込日から起算して6営業日目までに申込代金を申込みの販売会社に支払うものとします。なお、販売会社が別に定める所定の方法により、上記の期日以前に申込代金をお支払いいただく場合があります。
- ・金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があり、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場ないしは当該市場を開設するものを「証券取引所」という場合があります。)等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込の受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込の受付を取り消す場合があります。

購入のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

2【換金(解約)手続等】

- ・受益者は、委託者に1口単位で一部解約の実行を請求することができます。
- ・受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。
- ・一部解約の実行の請求の受付については、午後3時までに、解約請求のお申込みが行われかつ、その解約請求のお申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日のお申込み分とします。
- ・換金価額は、換金のお申込み日の翌営業日の基準価額となります。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

- ・信託財産の資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超える一部解約は行なえません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。
- ・解約代金は、原則として一部解約の実行の請求日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求の受け付けを取り消す場合があります。

また、一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受け付け中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受け付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、信託約款の規定に準じて計算された価額とします。

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

<基準価額の計算方法>

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
公社債等	原則として、基準価額計算日 ¹ における以下のいずれかの価額で評価します。 ² 日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値) 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く） 価格情報会社の提供する価額
外貨建資産	原則として、基準価額計算日の対顧客相場の仲値で円換算を行ないます。

1 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

2 残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社
サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

(2)【保管】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、受益証券を発行しませんので、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

(3)【信託期間】

無期限とします(2015年4月1日設定)。

(4)【計算期間】

原則として、毎年12月7日から翌年12月6日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

(5)【その他】

(a)ファンドの繰上償還条項

委託者は、信託期間中において、信託契約の一部を解約することにより各ファンドにつき受益権の口数が30億口を下回った場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

(b)信託期間の終了

- ()委託者は、上記「(a)ファンドの繰上償還条項」に従い信託期間を終了させるには、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- ()上記()の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ()上記()の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- ()上記()から()までの規定は、委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当

該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記()から()までに規定するこの信託契約の解約の行なうことが困難な場合には適用しません。

- () 委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- () 委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、下記「(d)信託約款の変更等」の書面決議が否決となる場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

(c) 運用報告書

ファンドの決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に対して交付します。

(d) 信託約款の変更等

- () 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。)を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとし、
- () 委託者は、上記()の事項(上記()の変更事項にあつてはその変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあつてはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- () 上記()の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- () 上記()の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- () 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- () 上記()から()までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- () 上記()から()の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあつても、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行なうことはできません。

(e) 公告

委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<http://www.nomura-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

(f) 受託者の辞任および解任に伴う取扱い

- () 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、上記「(d) 信託約款の変更等」にしたがい、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行なう場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。
- () 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

(g) 反対受益者の受益権買取請求の不適用

この信託は、受益者が一部解約の実行の請求を行なったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、信託契約の解約または重大な約款の変更等を行なう場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

(h) 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行なうことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

(i) 関係法人との契約の更新に関する手続

委託者と販売会社との間で締結する「募集・販売等に関する契約」は、契約終了の3ヵ月前までに当事者の一方から別段の意思表示のないときは、原則1年毎に自動的に更新されるものとします。

なお、運用の外部委託を行なう場合は、委託者と運用の委託先との間で締結する「運用指図に関する権限の委託契約」は、契約終了の3ヵ月前までに当事者の一方から更新しない旨を書面によって通知がない限り、1年毎に自動的に更新されるものとします。但し、当該契約はファンドの償還日に終了するものとします。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

収益分配金に対する請求権

収益分配金の支払い開始日

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始します。販売会社でお受取りください。

累積投資契約を結んでいる場合には、税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。この場合の受益権の価額は、各計算期間終了日(決算日)の基準価額とします。

なお、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

収益分配金請求権の失効

受益者は、収益分配金を支払開始日から5年間支払請求しないと権利を失います。

償還金に対する請求権

償還金の支払い開始日

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に、原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに支払いを開始します。

償還金請求権の失効

受益者は、償還金を支払開始日から10年間支払請求しないと権利を失います。

換金(解約)請求権

受益者は、一部解約の実行を請求することができます。詳しくは、前述の「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

第3【ファンドの経理状況】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(2018年12月7日から2019年12月6日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	第4期 (2018年12月 6日現在)	第5期 (2019年12月 6日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	71,701,984	65,168,815
親投資信託受益証券	7,158,465,854	6,530,616,320
派生商品評価勘定	2,830,147	3,016,327
未収入金	48,200,000	43,700,000
流動資産合計	7,281,197,985	6,642,501,462
資産合計	7,281,197,985	6,642,501,462
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	49,474,349	81,442,719
未払収益分配金	6,789,168	5,873,174
未払解約金	26,884,833	3,034,006
未払受託者報酬	1,800,705	1,760,725
未払委託者報酬	38,535,134	37,679,483
未払利息	146	28
その他未払費用	71,964	70,373
流動負債合計	123,556,299	129,860,508
負債合計	123,556,299	129,860,508
純資産の部		
元本等		
元本	6,789,168,158	5,873,174,567
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	368,473,528	639,466,387
(分配準備積立金)	492,925,092	573,155,733
元本等合計	7,157,641,686	6,512,640,954
純資産合計	7,157,641,686	6,512,640,954
負債純資産合計	7,281,197,985	6,642,501,462

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第4期		第5期	
	自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日		自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日	
営業収益				
受取利息		-		22
有価証券売買等損益		73,623,620		356,350,466
為替差損益		177,178,267		63,397,018
営業収益合計		103,554,647		419,747,506
営業費用				
支払利息		40,190		38,708
受託者報酬		3,512,203		3,599,106
委託者報酬		75,161,135		77,020,743
その他費用		151,166		154,652
営業費用合計		78,864,694		80,813,209
営業利益又は営業損失（ ）		182,419,341		338,934,297
経常利益又は経常損失（ ）		182,419,341		338,934,297
当期純利益又は当期純損失（ ）		182,419,341		338,934,297
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		18,445,898		97,275,746
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		518,276,492		368,473,528
剰余金増加額又は欠損金減少額		249,652,517		240,058,524
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		249,652,517		240,058,524
剰余金減少額又は欠損金増加額		228,692,870		204,851,042
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		228,692,870		204,851,042
分配金		6,789,168		5,873,174
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		368,473,528		639,466,387

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2018年12月7日から2019年12月6日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 2018年12月6日現在	第5期 2019年12月6日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 6,789,168,158口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 5,873,174,567口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0543円 (10,000口当たり純資産額) (10,543円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1089円 (10,000口当たり純資産額) (11,089円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 2017年12月7日 至 2018年12月6日	第5期 自 2018年12月7日 至 2019年12月6日						
1.運用の外部委託費用 当ファンドの主要投資対象であるハイ・イールド ボンド オープンマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用 なお、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。 支払金額 133,669,128円	1.運用の外部委託費用 当ファンドの主要投資対象であるハイ・イールド ボンド オープンマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用 なお、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。 支払金額 129,806,944円						
2.分配金の計算過程	2.分配金の計算過程						
<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目			<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目		
項目							
項目							

費用控除後の配当等収益額	A	313,779,824円	費用控除後の配当等収益額	A	299,648,826円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	549,951,321円	収益調整金額	C	635,802,223円
分配準備積立金額	D	185,934,436円	分配準備積立金額	D	279,380,081円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,049,665,581円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,214,831,130円
当ファンドの期末残存口数	F	6,789,168,158口	当ファンドの期末残存口数	F	5,873,174,567口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	1,546円	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	2,068円
10,000口当たり分配金額	H	10円	10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,789,168円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	5,873,174円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>当ファンドは、信託財産に属する資産の為替変動リスクの低減、並びに信託財産に属する外貨建資金の受渡を行うことを目的として、為替予約取引を利用しております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>

<p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	同左
---	----

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 2018年12月 6日現在	第5期 2019年12月 6日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。</p> <p>2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、（その他の注記）の 3 デリバティブ取引関係に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

	第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
期首元本額	6,217,720,038円	6,789,168,158円
期中追加設定元本額	3,345,089,546円	2,552,332,780円
期中一部解約元本額	2,773,641,426円	3,468,326,371円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
	損益に含まれた評価差額（円）	
親投資信託受益証券	98,078,777	294,041,648
合計	98,078,777	294,041,648

3 デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

種類	第4期(2018年12月 6日現在)				第5期(2019年12月 6日現在)			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
		うち1年 超				うち1年 超		
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売建	7,004,164,683	-	7,050,808,885	46,644,202	6,321,133,333	-	6,399,559,725	78,426,392
米ドル	7,004,164,683	-	7,050,808,885	46,644,202	6,321,133,333	-	6,399,559,725	78,426,392
合計	7,004,164,683	-	7,050,808,885	46,644,202	6,321,133,333	-	6,399,559,725	78,426,392

(注) 時価の算定方法

1 為替予約取引

1) 計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2)計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものはございません。

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2019年12月6日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2019年12月6日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	日本円	ハイ・イールド ボンド オープン マザーファンド	828,895,163	6,530,616,320	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：100.3%	828,895,163	6,530,616,320 100.0%	
合計				6,530,616,320	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

財務諸表における注記事項として記載しているため省略しております。

【ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第4期 (2018年12月 6日現在)	第5期 (2019年12月 6日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	59,143,786	72,240,751
親投資信託受益証券	5,862,447,234	7,133,563,682
未収入金	39,200,000	57,200,000
流動資産合計	5,960,791,020	7,263,004,433
資産合計	5,960,791,020	7,263,004,433
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	5,580,590	6,518,146
未払解約金	11,935,783	5,880,768
未払受託者報酬	1,427,477	1,836,308
未払委託者報酬	30,548,012	39,296,979
未払利息	120	31
その他未払費用	57,036	73,388
流動負債合計	49,549,018	53,605,620
負債合計	49,549,018	53,605,620
純資産の部		
元本等		
元本	5,580,590,247	6,518,146,329
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	330,651,755	691,252,484
（分配準備積立金）	429,199,884	605,865,197
元本等合計	5,911,242,002	7,209,398,813
純資産合計	5,911,242,002	7,209,398,813
負債純資産合計	5,960,791,020	7,263,004,433

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第4期		第5期	
	自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日		自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日	
営業収益				
受取利息		-		23
有価証券売買等損益		51,510,083		374,116,448
営業収益合計		51,510,083		374,116,471
営業費用				
支払利息		31,032		36,820
受託者報酬		2,717,545		3,458,560
委託者報酬		58,155,487		74,013,058
その他費用		108,575		138,215
営業費用合計		61,012,639		77,646,653
営業利益又は営業損失（ ）		9,502,556		296,469,818
経常利益又は経常損失（ ）		9,502,556		296,469,818
当期純利益又は当期純損失（ ）		9,502,556		296,469,818
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		24,199,221		37,847,694
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		287,552,528		330,651,755
剰余金増加額又は欠損金減少額		168,188,833		228,957,673
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		168,188,833		228,957,673
剰余金減少額又は欠損金増加額		134,205,681		120,460,922
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		134,205,681		120,460,922
分配金		5,580,590		6,518,146
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		330,651,755		691,252,484

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2018年12月7日から2019年12月6日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 2018年12月6日現在	第5期 2019年12月6日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 5,580,590,247口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 6,518,146,329口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0593円 (10,000口当たり純資産額) (10,593円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1061円 (10,000口当たり純資産額) (11,061円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 2017年12月7日 至 2018年12月6日	第5期 自 2018年12月7日 至 2019年12月6日																																										
<p>1. 運用の外部委託費用</p> <p>当ファンドの主要投資対象であるハイ・イールド ボンド オープンマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用</p> <p>なお、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。</p> <p>支払金額 133,669,128円</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>241,549,384円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>508,687,473円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>193,231,090円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>943,467,947円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>5,580,590,247口</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	241,549,384円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	508,687,473円	分配準備積立金額	D	193,231,090円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	943,467,947円	当ファンドの期末残存口数	F	5,580,590,247口	<p>1. 運用の外部委託費用</p> <p>当ファンドの主要投資対象であるハイ・イールド ボンド オープンマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用</p> <p>なお、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。</p> <p>支払金額 129,806,944円</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>304,232,099円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>804,310,754円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>308,151,244円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,416,694,097円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>6,518,146,329口</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	304,232,099円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	804,310,754円	分配準備積立金額	D	308,151,244円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,416,694,097円	当ファンドの期末残存口数	F	6,518,146,329口
項目																																											
費用控除後の配当等収益額	A	241,549,384円																																									
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																									
収益調整金額	C	508,687,473円																																									
分配準備積立金額	D	193,231,090円																																									
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	943,467,947円																																									
当ファンドの期末残存口数	F	5,580,590,247口																																									
項目																																											
費用控除後の配当等収益額	A	304,232,099円																																									
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																									
収益調整金額	C	804,310,754円																																									
分配準備積立金額	D	308,151,244円																																									
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,416,694,097円																																									
当ファンドの期末残存口数	F	6,518,146,329口																																									

10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	1,690円	10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	2,173円
10,000口当たり分配金額	H	10円	10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	5,580,590円	収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	6,518,146円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 2018年12月 6日現在	第5期 2019年12月 6日現在
<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ</p> <p>ん。</p>	<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>同左</p>

<p>2. 時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>2. 時価の算定方法</p> <p>同左</p>
--	-----------------------------

（関連当事者との取引に関する注記）

第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日		
期首元本額	4,785,581,914円	期首元本額	5,580,590,247円
期中追加設定元本額	3,148,026,384円	期中追加設定元本額	2,896,331,889円
期中一部解約元本額	2,353,018,051円	期中一部解約元本額	1,958,775,807円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

種類	第4期 自 2017年12月 7日 至 2018年12月 6日	第5期 自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	66,508,718	326,166,510
合計	66,508,718	326,166,510

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2019年12月6日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2019年12月6日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	日本円	ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド	905,423,951	7,133,563,682	
	小計	銘柄数: 1 組入時価比率: 98.9%	905,423,951	7,133,563,682 100.0%	
合計				7,133,563,682	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

「ハイ・イールド ボンド オープン Aコース(野村SMA・EW向け)」および「ハイ・イールド ボンド オープン Bコース(野村SMA・EW向け)」は「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

(2019年12月 6日現在)

資産の部	
流動資産	
預金	788,604,459
コール・ローン	313,770,656
社債券	24,232,330,210
派生商品評価勘定	72,000
未収入金	74,453,242
未収利息	340,184,041
前払費用	12,910,709
流動資産合計	25,762,325,317
資産合計	25,762,325,317
負債の部	
流動負債	
未払金	324,451,154
未払解約金	107,700,000
未払利息	135
流動負債合計	432,151,289
負債合計	432,151,289
純資産の部	

(2019年12月 6日現在)

元本等	
元本	3,215,033,691
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	22,115,140,337
元本等合計	25,330,174,028
純資産合計	25,330,174,028
負債純資産合計	25,762,325,317

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
4. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。

(貸借対照表に関する注記)

2019年12月 6日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	7.8787円
(10,000口当たり純資産額)	(78,787円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 2018年12月 7日 至 2019年12月 6日	
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。

当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。

これらは、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。

当ファンドは、信託財産に属する外貨建資金の受渡を行うことを目的として、為替予約取引を利用しております。

3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

2019年12月 6日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ	
ん。	
2. 時価の算定方法	
社債券	
(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	
派生商品評価勘定	
デリバティブ取引については、附属明細表に記載しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており	
ます。	

(その他の注記)

元本の移動及び期末元本額の内訳

2019年12月 6日現在	
期首	2018年12月 7日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	3,710,332,368円
同期中における追加設定元本額	865,752,656円
同期中における一部解約元本額	1,361,051,333円
期末元本額	3,215,033,691円
期末元本額の内訳*	
ハイ・イールド ボンド オープンAコース	190,020,795円
ハイ・イールド ボンド オープンBコース	504,275,770円
ハイ・イールド ボンド オープンCコース	17,818,111円
ハイ・イールド ボンド オープンDコース	171,409,686円
ハイブリッド・インカムオープン	101,573,075円
ハイ・イールド ボンド オープンAコース(野村SMA向け)	254,691,402円

ハイ・イールド ボンド オープン B コース(野村 S M A 向け)	240,925,738円
ハイ・イールド ボンド オープン A コース(野村 S M A ・ E W 向け)	828,895,163円
ハイ・イールド ボンド オープン B コース(野村 S M A ・ E W 向け)	905,423,951円

*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2019年12月6日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2019年12月6日現在)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
社債券	米ドル	1011778 BC / NEW RED FIN	600,000.00	617,904.00	
		1011778 BC / NEW RED FIN	825,000.00	856,968.75	
		1011778 BC / NEW RED FIN	175,000.00	176,750.00	
		ABC SUPPLY CO INC	575,000.00	593,351.12	
		ACI WORLDWIDE INC	150,000.00	160,635.37	
		ACRISURE LLC / FIN INC	600,000.00	643,695.00	
		ADVANCED DRAINAGE SYSTEM	100,000.00	102,715.25	
		AHERN RENTALS INC	300,000.00	234,874.50	
		AIR CANADA	625,000.00	669,250.00	
		ALBERTSONS COS LLC/SAFEW	275,000.00	286,684.75	
		ALBERTSONS COS LLC/SAFEW	525,000.00	545,430.37	
		ALBERTSONS COS LLC/SAFEW	100,000.00	111,437.40	
		ALBERTSONS COS LLC/SAFEW	175,000.00	182,538.56	
		ALCOA NEDERLAND HOLDING	375,000.00	407,745.93	
		ALCOA NEDERLAND HOLDING	200,000.00	216,777.00	
		ALGECO SCOTSMAN GLOB FIN	374,000.00	363,711.26	
		ALLEGHENY TECHNOLOGIES	150,000.00	155,812.50	
		ALLIED UNIVERSAL HOLDCO	325,000.00	343,078.45	
		ALLY FINANCIAL INC	150,000.00	156,624.75	
		ALLY FINANCIAL INC	175,000.00	192,183.25	
		ALLY FINANCIAL INC	425,000.00	587,730.37	
		ALTICE FINANCING SA	1,050,000.00	1,076,239.50	
		ALTICE FINANCING SA	800,000.00	858,020.00	
		ALTICE FRANCE SA	1,375,000.00	1,476,440.62	
		ALTICE FRANCE SA	675,000.00	750,076.87	
		ALTICE FRANCE SA	400,000.00	404,990.00	
		AMC ENTERTAINMENT HOLDIN	525,000.00	471,200.62	
		AMC NETWORKS INC	700,000.00	703,500.00	

AMERICAN AIRLINES GROUP	575,000.00	578,861.12
AMERICAN AIRLINES GROUP	300,000.00	313,312.50
AMERICAN WOODMARK CORP	275,000.00	281,626.81
AMERIGAS PART/FIN CORP	150,000.00	160,873.50
AMERIGAS PART/FIN CORP	300,000.00	322,497.00
AMERIGAS PART/FIN CORP	150,000.00	164,598.37
AMERIGAS PART/FIN CORP	175,000.00	190,718.93
AMKOR TECHNOLOGY INC	100,000.00	109,252.50
AMSTED INDUSTRIES	100,000.00	105,534.75
ANIXTER INC	100,000.00	103,291.50
ANTERO MIDSTREAM PART/FI	350,000.00	298,375.00
ANTERO MIDSTREAM PART/FI	150,000.00	117,003.75
ANTERO MIDSTREAM PART/FI	150,000.00	115,128.75
ANTERO RESOURCES CORP	150,000.00	136,462.50
APERGY CORP	75,000.00	74,463.56
ARAMARK SERVICES INC	425,000.00	437,693.68
ARAMARK SERVICES INC	775,000.00	813,769.37
ARCHROCK PARTNERS LP/FIN	200,000.00	206,464.50
ARROW BIDCO LLC	75,000.00	71,093.62
ASCENT RESOURCES/ARU FIN	341,000.00	324,800.28
ASCENT RESOURCES/ARU FIN	275,000.00	207,033.06
ASGN INCORPORATED	650,000.00	658,125.00
AVANTOR INC	425,000.00	455,808.25
AVIS BUDGET CAR/FINANCE	100,000.00	103,122.50
AVON INTERNATIONAL CAPIT	100,000.00	103,906.20
BANK OF AMERICA CORP	50,000.00	54,920.00
BANK OF AMERICA CORP	650,000.00	723,654.75
BANK OF AMERICA CORP	100,000.00	114,835.50
BANK OF AMERICA CORP	125,000.00	132,031.25
BASIC ENERGY SERVICES	75,000.00	54,000.00
BAUSCH HEALTH AMERICAS	200,000.00	227,501.00
BAUSCH HEALTH COS INC	98,000.00	99,346.52
BAUSCH HEALTH COS INC	550,000.00	572,180.12
BAUSCH HEALTH COS INC	75,000.00	81,376.87
BAUSCH HEALTH COS INC	200,000.00	220,464.50
BAUSCH HEALTH COS INC	200,000.00	225,214.50
BCD ACQUISITION INC	300,000.00	306,747.00
BEACON ESCROW CORP	350,000.00	342,457.50
BEACON ROOFING SUPPLY IN	100,000.00	101,750.00
BEAZER HOMES USA	650,000.00	680,605.25
BEAZER HOMES USA	175,000.00	185,058.12
BERRY GLOBAL ESCROW CORP	300,000.00	314,226.45

BERRY GLOBAL ESCROW CORP	100,000.00	106,951.50
BERRY GLOBAL INC	150,000.00	152,066.25
BIDFAIR MERGERIGHT INC	200,000.00	197,255.00
BIG RIVER STEEL/BRS FIN	225,000.00	232,872.75
BLUE RACER MID LLC/FINAN	50,000.00	45,375.32
BLUE RACER MID LLC/FINAN	75,000.00	63,708.93
BMC EAST LLC	1,075,000.00	1,125,971.12
BOMBARDIER INC	200,000.00	200,800.00
BOMBARDIER INC	85,000.00	86,594.34
BOMBARDIER INC	275,000.00	281,187.50
BOYD GAMING CORP	825,000.00	885,375.56
BOYD GAMING CORP	325,000.00	347,456.68
BOYD GAMING CORP	275,000.00	277,750.00
BOYNE USA INC	175,000.00	190,166.37
BROOKFIELD RESIDENTIAL	125,000.00	130,520.62
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	193,000.00	201,445.68
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	225,000.00	243,203.06
BWAY HOLDING CO	650,000.00	667,868.50
CALFRAC HOLDINGS LP	325,000.00	130,820.62
CALLON PETROLEUM CO	300,000.00	286,500.00
CALLON PETROLEUM CO	325,000.00	302,362.93
CALPINE CORP	700,000.00	707,875.00
CALPINE CORP	500,000.00	513,750.00
CALPINE CORP	425,000.00	440,862.06
CAMELOT FINANCE SA	275,000.00	281,703.40
CAPITOL INV MERGER SUB 2	125,000.00	124,114.37
CARDTRONICS INC / USA	125,000.00	129,270.62
CARLSON TRAVEL INC	475,000.00	488,259.62
CARRIZO OIL & GAS INC	450,000.00	434,245.50
CARRIZO OIL & GAS INC	75,000.00	73,906.12
CASCADES INC	400,000.00	405,840.00
CATALENT PHARMA SOLUTION	175,000.00	181,404.56
CATALENT PHARMA SOLUTION	75,000.00	78,200.81
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	250,000.00	254,372.50
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	300,000.00	305,783.25
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	50,000.00	51,249.50
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	500,000.00	522,495.00
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	150,000.00	158,223.37
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	675,000.00	714,673.12
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	800,000.00	836,660.00
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	225,000.00	240,193.12
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	400,000.00	409,509.99
CCO HOLDINGS LLC	1,075,000.00	1,133,934.18

CDK GLOBAL INC	150,000.00	160,848.37
CDK GLOBAL INC	50,000.00	52,875.00
CDW LLC/CDW FINANCE	900,000.00	938,175.75
CDW LLC/CDW FINANCE	275,000.00	286,638.68
CEDAR FAIR LP	100,000.00	107,232.25
CEDAR FAIR LP/CANADA'S W	375,000.00	386,874.37
CEMEX FINANCE LLC	200,000.00	205,500.00
CENTENE CORP	300,000.00	312,435.00
CENTENE CORP	450,000.00	465,754.50
CENTENE CORP	450,000.00	464,062.50
CENTENE CORP	675,000.00	708,117.18
CENTENE ESCROW I CORP	800,000.00	852,020.00
CENTRAL GARDEN & PET CO	150,000.00	155,432.25
CENTURY COMMUNITIES	225,000.00	232,405.87
CENTURY COMMUNITIES	325,000.00	346,067.31
CENTURYLINK INC	250,000.00	262,562.50
CENTURYLINK INC	975,000.00	1,030,446.30
CENTURYLINK INC	200,000.00	224,126.00
CENTURYLINK INC	275,000.00	310,750.00
CF INDUSTRIES INC	325,000.00	350,220.00
CHANGE HEALTH / FIN INC	270,000.00	280,457.10
CHARLES RIVER LABORATORI	150,000.00	159,723.37
CHEMOURS CO	250,000.00	232,500.00
CHENIERE CORP CHRISTI HD	500,000.00	573,990.00
CHENIERE CORP CHRISTI HD	250,000.00	279,925.00
CHENIERE CORP CHRISTI HD	250,000.00	275,061.25
CHENIERE ENERGY PARTNERS	550,000.00	565,807.00
CHENIERE ENERGY PARTNERS	300,000.00	298,492.50
CHESAPEAKE ENERGY CORP	50,000.00	48,605.62
CHESAPEAKE ENERGY CORP	200,000.00	182,420.00
CHS/COMMUNITY HEALTH	150,000.00	149,587.50
CHS/COMMUNITY HEALTH SYS	325,000.00	322,562.50
CHS/COMMUNITY HEALTH SYS	200,000.00	207,498.00
CHURCHILL DOWNS INC	175,000.00	185,468.93
CINEMARK USA INC	1,025,000.00	1,041,586.55
CIT GROUP INC	75,000.00	76,706.25
CITGO PETROLEUM CORP	275,000.00	278,439.42
CITIGROUP INC	775,000.00	822,054.12
CITIGROUP INC	350,000.00	398,424.25
CLEAN HARBORS INC	100,000.00	104,705.25
CLEAN HARBORS INC	50,000.00	52,732.62
CLEAR CHANNEL WORLDWIDE	500,000.00	522,512.49

CLEARWATER SEAFOODS INC	125,000.00	130,364.37
CLEARWAY ENERGY OP LLC	200,000.00	211,002.00
CLEARWAY ENERGY OP LLC	325,000.00	333,237.93
CLEARWAY ENERGY OP LLC	275,000.00	275,000.00
CLEAVER-BROOKS INC	100,000.00	98,008.50
CLEVELAND-CLIFFS INC	225,000.00	213,789.93
CLIFFS NATURAL RESOURCES	143,000.00	139,425.00
CLOUD CRANE LLC	150,000.00	153,748.50
CNX MIDSTREAM PTR/CNX	125,000.00	113,168.43
CNX RESOURCES CORP	200,000.00	162,505.00
COEUR MINING INC	475,000.00	479,709.62
COGENT COMMUNICATIONS GR	475,000.00	497,710.70
COLFAX CORP	100,000.00	105,874.00
COLFAX CORP	100,000.00	108,187.50
COMMERCIAL METALS CO	100,000.00	104,291.50
COMMERCIAL METALS CO	200,000.00	208,544.50
COMMERCIAL METALS CO	250,000.00	260,086.87
COMMSCOPE FINANCE LLC	250,000.00	261,872.50
COMMSCOPE FINANCE LLC	250,000.00	263,594.00
COMMSCOPE FINANCE LLC	25,000.00	25,500.62
COMMSCOPE INC	105,000.00	105,304.50
COMMSCOPE INC	625,000.00	617,193.75
COMMSCOPE TECH FINANCE L	300,000.00	292,875.00
COMPASS MINERALS INTERNA	175,000.00	183,312.50
CONSOL ENERGY INC	250,000.00	241,875.00
CONSOLIDATED ENERGY FIN	150,000.00	139,927.12
CONSTELLIUM NV	250,000.00	260,943.75
COOKE OMEGA/ALPHA VESSEL	325,000.00	325,426.40
CORTES NP ACQUISITION	550,000.00	565,812.50
CRC ESCROW ISSUER LLC	650,000.00	670,930.00
CREDIT ACCEPTANC	150,000.00	158,230.87
CREDIT SUISSE GROUP AG	200,000.00	216,705.00
CRESTWOOD MID PARTNER LP	525,000.00	526,317.75
CRESTWOOD MID PARTNER LP	250,000.00	243,431.25
CRESTWOOD MIDSTREAM PART	300,000.00	301,497.00
CROWNROCK LP/CROWNROCK F	500,000.00	496,245.00
CSC HOLDINGS LLC	400,000.00	450,500.00
CSC HOLDINGS LLC	300,000.00	320,652.00
CSC HOLDINGS LLC	600,000.00	671,275.50
CSC HOLDINGS LLC	875,000.00	928,593.75
CSTN MERGER SUB INC	300,000.00	274,624.50
CSVAC ACQUISITION CORP	375,000.00	213,905.62
CVR REF LLC/COFF FIN INC	500,000.00	508,121.50

DAE FUNDING LLC	250,000.00	252,596.87	
DAE FUNDING LLC	325,000.00	337,106.25	
DAE FUNDING LLC	375,000.00	381,559.87	
DAE FUNDING LLC	600,000.00	626,994.00	
DANA INC	125,000.00	127,187.50	
DARLING INGREDIENTS INC	100,000.00	106,232.25	
DAVITA HEALTHCARE PARTNE	350,000.00	359,632.00	
DAVITA HEALTHCARE PARTNE	225,000.00	232,582.50	
DCP MIDSTREAM OPERATING	475,000.00	507,057.75	
DCP MIDSTREAM OPERATING	375,000.00	380,222.81	
DELEK LOGISTICS PARTNERS	175,000.00	174,958.87	
DELL INT LLC/EMC CORP	25,000.00	27,081.34	
DENBURY RESOURCES INC	442,000.00	392,164.50	
DIAMOND OFFSHORE DRILL	175,000.00	142,187.50	
DIAMOND SPORTS GR/DIAMON	475,000.00	471,140.15	
DIAMOND SPORTS GR/DIAMON	425,000.00	402,698.12	
DIGICEL LIMITED	525,000.00	379,527.75	
DISH DBS CORP	300,000.00	302,952.00	
DISH DBS CORP	150,000.00	151,359.00	
DISH DBS CORP	400,000.00	398,750.00	
DISH DBS CORP	325,000.00	336,383.12	
DONNELLEY FINANCIAL SOL	775,000.00	789,852.87	
DOWNSTREAM DEVELOPMENT	175,000.00	183,822.62	
DRAX FINCO PLC	400,000.00	424,516.00	
DRIVETIME AUTO GP & ACCE	275,000.00	279,984.37	
EAGLE INT GLO/RUYI US FI	425,000.00	312,551.37	
EG GLOBAL FINANCE PLC	200,000.00	199,500.00	
EG GLOBAL FINANCE PLC	200,000.00	211,000.00	
ELDORADA RESORTS INC	850,000.00	898,866.50	
ELDORADO RESORTS INC	150,000.00	165,356.10	
EMBARQ CORP	350,000.00	357,402.50	
EMC CORP	450,000.00	450,000.00	
ENCOMPASS HEALTH CORP	125,000.00	130,045.00	
ENDEAVOR ENERGY RESOURCE	200,000.00	209,464.50	
ENERGIZER GAMMA ACQ INC	75,000.00	80,049.18	
ENERGIZER HOLDINGS INC	200,000.00	223,464.50	
ENERGIZER SPINCO INC	275,000.00	284,622.25	
ENLINK MIDSTREAM LLC	200,000.00	172,464.50	
ENLINK MIDSTREAM PARTNER	580,000.00	511,952.95	
ENLINK MIDSTREAM PARTNER	225,000.00	163,897.87	
ENPRO INDUSTRIES INC	150,000.00	159,052.12	
ENSIGN DRILLING INC	550,000.00	485,369.50	

ENTERPRISE DEVELOP AUTH	475,000.00	541,697.12
EQUINIX INC	150,000.00	159,723.37
ESH HOSPITALITY INC	395,000.00	409,812.50
ESH HOSPITALITY INC	250,000.00	250,580.62
EW SCRIPPS CO	175,000.00	178,135.12
EXELA INTERMED/EXELA FIN	450,000.00	164,250.00
EXTERRAN NRG SOLUTIONS/F	275,000.00	266,864.12
EXTRACTION OIL & GAS INC	150,000.00	63,427.12
EXTRACTION OIL & GAS LLC	100,000.00	43,291.50
FAIR ISAAC CORP	100,000.00	101,250.00
FAIRSTONE FINANCIAL INC	325,000.00	350,322.37
FELCOR LODGING LP	525,000.00	550,811.62
FERRELLGAS LP/FERRELLGAS	175,000.00	150,117.10
FERRELLGAS LP/FERRELLGAS	250,000.00	212,603.75
FINANCIAL & RISK US HOLD	200,000.00	219,005.00
FIRST QUALITY FINANCE CO	75,000.00	77,937.37
FIRST QUANTUM MINERALS L	200,000.00	204,500.00
FIRST QUANTUM MINERALS L	400,000.00	401,496.00
FIRST QUANTUM MINERALS L	200,000.00	202,250.00
FIRST QUANTUM MINERALS L	200,000.00	199,851.00
FIRSTCASH INC	125,000.00	129,739.37
FIVE POINT OP CO LP/FIVE	125,000.00	122,811.25
FORESTAR GROUP INC	325,000.00	351,134.87
FORTRESS TRANS & INFRAST	50,000.00	52,281.65
FORTRESS TRANS & INFRAST	200,000.00	205,583.00
FOXTROT ESCROW ISSUER	225,000.00	229,077.90
FREEPORT-MCMORAN C & G	500,000.00	485,050.00
FREEPORT-MCMORAN INC	325,000.00	341,656.25
FRONTDOOR INC	125,000.00	136,605.93
FRONTIER COMMUNICATIONS	750,000.00	339,609.00
FRONTIER COMMUNICATIONS	625,000.00	281,250.00
FRONTIER COMMUNICATIONS	275,000.00	272,428.75
FRONTIER COMMUNICATIONS	300,000.00	310,446.75
FTS INTERNATIONAL INC	700,000.00	351,968.40
GCI LLC	125,000.00	135,520.62
GCP APPLIED TECHNOLOGIES	100,000.00	103,495.25
GENWORTH HOLDINGS INC	350,000.00	356,698.12
GLP CAPITAL LP / FIN II	100,000.00	110,014.00
GO DADDY OPCO/FINCO	200,000.00	211,964.50
GOLDMAN SACHS GROUP INC	325,000.00	332,515.62
GRAHAM HOLDINGS CO	200,000.00	213,090.50
GRAPHIC PACKAGING INTERN	100,000.00	106,715.25
GRAY ESCROW INC	375,000.00	415,613.43

GRAY TELEVISION INC	350,000.00	364,434.00	
GRAY TELEVISION INC	875,000.00	928,438.43	
GREIF INC	175,000.00	186,343.93	
GREYSTAR REAL ESTATE PAR	225,000.00	233,716.50	
GRIFFON CORPORATION	825,000.00	832,212.97	
GRINDING MED/MC GRINDING	325,000.00	324,996.75	
GROUP 1 AUTOMOTIVE INC	725,000.00	733,151.17	
GROUP 1 AUTOMOTIVE INC	150,000.00	154,665.75	
GULFPORT ENERGY CORP	125,000.00	80,312.50	
GULFPORT ENERGY CORP	650,000.00	401,644.75	
GULFPORT ENERGY CORP	175,000.00	108,123.31	
H&E EQUIPMENT SERVICES	300,000.00	317,127.75	
HALYARD HEALTH INC	200,000.00	204,312.40	
HARLAND CLARKE HOLDINGS	525,000.00	392,601.30	
HAT HOLDINGS I LLC/HAT	275,000.00	290,809.75	
HCA INC	720,000.00	793,807.20	
HCA INC	500,000.00	553,276.25	
HCA INC	450,000.00	511,886.25	
HCA INC	600,000.00	666,015.00	
HCA INC	1,175,000.00	1,332,185.62	
HCA INC	250,000.00	287,187.50	
HEALTHSOUTH CORP	233,000.00	236,492.67	
HECLA MINING CO	425,000.00	424,893.75	
HERTZ CORP	625,000.00	666,796.87	
HERTZ CORP	475,000.00	471,437.50	
HESS INF PART / FIN CORP	675,000.00	707,182.31	
HESS MIDSTREAM PARTNERS	275,000.00	278,093.75	
HEXION INC	375,000.00	379,696.87	
HILL-ROM HOLDINGS INC	100,000.00	102,840.25	
HILTON DOMESTIC OPERATIN	750,000.00	789,635.62	
HILTON DOMESTIC OPERATIN	250,000.00	264,955.62	
HOLLY ENERGY PARTNERS LP	175,000.00	181,998.25	
HORIZON PHARMA USA INC	200,000.00	212,214.50	
HUDBAY MINERALS INC	100,000.00	102,916.50	
HUDBAY MINERALS INC	150,000.00	151,873.50	
HUGHES SATELLITE SYSTEMS	250,000.00	268,125.55	
HUGHES SATELLITE SYSTEMS	700,000.00	759,743.25	
HUGHES SATELLITE SYSTEMS	475,000.00	523,852.56	
HUNT COS INC	300,000.00	297,696.75	
IAA SPINCO INC	150,000.00	158,242.11	
IAMGOLD CORP	250,000.00	257,396.25	
ICAHN ENTERPRISES/FIN	400,000.00	403,520.00	

ICAHN ENTERPRISES/FIN	275,000.00	286,457.87
ICAHN ENTERPRISES/FIN	575,000.00	590,266.25
ICAHN ENTERPRISES/FIN	125,000.00	131,600.31
ICAHN ENTERPRISES/FIN	525,000.00	561,421.35
IHEARTCOMMUNICATIONS INC	100,000.00	108,474.40
IHEARTCOMMUNICATIONS INC	175,000.00	180,910.62
IHEARTCOMMUNICATIONS INC	225,000.00	226,968.75
ILFC E-CAPITAL TRUST I	300,000.00	238,956.00
INCEPTION MRGR/RACKSPACE	413,000.00	394,415.00
INDIGO NATURAL RES LLC	150,000.00	134,628.75
INEOS GROUP HOLDINGS SA	200,000.00	205,498.00
INMARSAT FINANCE PLC	125,000.00	131,301.87
INSTALLED BUILDING PRODU	50,000.00	52,767.37
INTELSAT JACKSON HLDG	775,000.00	796,304.75
IQVIA INC	150,000.00	158,089.12
IRON MOUNTAIN INC	325,000.00	340,075.12
IRON MOUNTAIN INC	275,000.00	279,763.68
J2 CLOUD LLC/GLOBAL INC	875,000.00	924,774.37
JACOBS ENTERTAINMENT INC	550,000.00	584,603.25
JAGGED PEAK ENERGY LLC	200,000.00	203,474.50
JAMES HARDIE INTL FIN	200,000.00	209,569.50
JBS INVESTMENTS II GMBH	200,000.00	217,682.00
JEFFERIES FIN LLC / JFIN	200,000.00	207,974.50
JELD-WEN INC	100,000.00	101,791.50
JPMORGAN CHASE & CO	275,000.00	312,203.37
JPMORGAN CHASE & CO	150,000.00	164,638.50
JPMORGAN CHASE & CO	525,000.00	530,906.25
KAISER ALUMINUM CORP	175,000.00	181,177.50
KAR AUCTION SERVICES INC	325,000.00	333,121.75
KB HOME	175,000.00	189,288.75
KB HOME	50,000.00	56,520.75
KB HOME	150,000.00	172,072.87
KB HOME	100,000.00	102,000.00
KEHE DISTRIBUTORS LLC/FI	125,000.00	130,234.37
KENNEDY-WILSON INC	765,000.00	788,898.60
KFC HLD/PIZZA HUT/TACO	300,000.00	313,446.75
KINROSS GOLD CORP	125,000.00	130,862.50
KIRS MIDCO 3 PLC	600,000.00	600,006.00
KISSNER GR HLDG	570,000.00	595,479.00
KRATON POLYMERS LLC/CAP	275,000.00	282,647.75
L BRANDS INC	200,000.00	185,964.50
L BRANDS INC	250,000.00	252,493.75
L BRANDS INC	200,000.00	171,270.00

LADDER CAP FIN LLLP/CORP	225,000.00	233,998.42
LAMAR MEDIA CORP	75,000.00	79,674.18
LAREDO PETROLEUM INC	200,000.00	172,083.00
LCPR SR SECURED FIN DAC	200,000.00	207,712.00
LENNAR CORP	100,000.00	105,540.00
LENNAR CORP	250,000.00	257,500.00
LENNAR CORP	250,000.00	263,435.75
LEVEL 3 FINANCING INC	500,000.00	503,120.00
LEVEL 3 FINANCING INC	325,000.00	330,422.62
LHMC FINCO SARL	200,000.00	212,231.60
LIONS GATE CAPITAL HOLD	200,000.00	195,998.00
LIONS GATE CAPITAL HOLD	625,000.00	605,728.12
LITHIA MOTORS INC	100,000.00	104,791.50
LITHIA MOTORS INC	100,000.00	101,625.00
LIVE NATION ENTERTAINMEN	200,000.00	214,569.50
LIVE NATION ENTERTAINMEN	275,000.00	283,171.62
MAGNOLIA OIL GAS/MAG FIN	200,000.00	200,569.50
MALLINCKRODT FIN/SB	175,000.00	59,135.12
MANITOWOC COMPANY INC	100,000.00	102,135.75
MARRIOTT OWNERSHIP RESOR	425,000.00	464,586.20
MARRIOTT OWNERSHIP RESOR	100,000.00	102,284.75
MASONITE INTERNATIONAL C	100,000.00	106,505.75
MASONITE INTERNATIONAL C	250,000.00	266,205.62
MATADOR RESOURCES CO	150,000.00	147,378.75
MATCH GROUP INC	150,000.00	158,677.12
MATTEL INC	300,000.00	316,500.00
MATTEL INC	100,000.00	101,750.00
MATTHEWS INTERNATIONAL C	425,000.00	407,849.12
MEDNAX INC	150,000.00	153,566.25
MEG ENERGY CORP	475,000.00	468,473.50
MERCER INTL INC	100,000.00	104,041.50
MERCER INTL INC	150,000.00	160,187.25
MERITAGE HOMES CORP	225,000.00	245,601.45
MERITAGE HOMES CORP	325,000.00	363,865.12
MERLIN ENTERTAINMENTS PL	350,000.00	378,996.62
MGIC INVESTMENT CORP	275,000.00	303,989.12
MGM GROWTH/MGM FINANCE	200,000.00	223,250.00
MGM RESORTS INTL	725,000.00	752,151.25
MGM RESORTS INTL	925,000.00	1,007,926.25
MGM RESORTS INTL	600,000.00	671,244.00
MGM RESORTS INTL	200,000.00	219,755.00
MICHAELS STORES INC	200,000.00	183,005.00

MIDCONTINENT COMM & FIN	125,000.00	131,918.43
MINERAL RESOURCES LTD	275,000.00	294,888.68
MOSS CREEK RESOURCES HLD	550,000.00	368,691.12
MOTION BONDCO DAC	200,000.00	206,750.00
MOUNTAIN PROVINCE DIAMON	100,000.00	96,375.00
MPT OPER PARTNERSP/FINL	225,000.00	234,281.25
MPT OPER PARTNERSP/FINL	275,000.00	286,433.12
MRT MID PART/MRT MID FIN	655,000.00	591,399.50
MTS SYSTEMS CORP	75,000.00	78,348.93
MUELLER WATER PRODUCTS	375,000.00	394,817.81
MURPHY OIL CORP	325,000.00	342,871.75
MURPHY OIL CORP	275,000.00	282,903.50
MURPHY OIL CORP	375,000.00	381,562.50
MURPHY OIL USA INC	100,000.00	105,357.25
NABORS INDUSTRIES INC	50,000.00	47,612.50
NABORS INDUSTRIES INC	250,000.00	220,625.00
NABORS INDUSTRIES INC	175,000.00	137,010.12
NATHAN'S FAMOUS INC	100,000.00	101,500.00
NATIONAL CINEMEDIA LLC	350,000.00	337,871.62
NATIONSTAR MORT/CAP CORP	500,000.00	502,187.50
NATIONSTAR MTG	175,000.00	186,810.75
NATIONSTAR MTG	175,000.00	195,343.75
NAVIENT CORP	50,000.00	53,012.50
NAVIENT CORP	250,000.00	270,937.50
NAVIENT CORP	100,000.00	111,499.00
NAVIENT CORP	800,000.00	851,992.00
NAVIENT CORP	225,000.00	244,125.00
NAVIENT CORP	200,000.00	212,995.00
NCR CORP	100,000.00	100,340.00
NCR CORP	175,000.00	176,750.00
NCR CORP	700,000.00	721,056.00
NCR CORP	275,000.00	285,951.18
NCR CORP	50,000.00	52,991.12
NETFLIX INC	250,000.00	265,000.00
NETFLIX INC	900,000.00	924,727.50
NETFLIX INC	200,000.00	219,505.00
NETFLIX INC	600,000.00	675,286.50
NETFLIX INC	375,000.00	395,165.62
NETFLIX INC	275,000.00	278,781.25
NEW ENTERPRISE STONE & L	625,000.00	658,629.68
NEWELL RUBBERMAID INC	525,000.00	544,522.49
NEWELL RUBBERMAID INC	300,000.00	321,236.37
NEWELL RUBBERMAID INC	150,000.00	154,462.33

NEWMARK GROUP INC	150,000.00	164,198.89
NEXSTAR ESCROW INC	475,000.00	499,853.18
NEXTERA ENERGY OPERATING	250,000.00	258,127.50
NEXTERA ENERGY OPERATING	350,000.00	349,780.90
NGPL PIPECO LLC	225,000.00	232,966.71
NIELSEN FINANCE LLC/CO	1,025,000.00	1,030,125.00
NINE ENERGY SERVICE INC	100,000.00	75,075.00
NORTHWEST ACQ/DOMINION	100,000.00	68,749.35
NOVA CHEMICALS CORP	400,000.00	405,424.00
NOVA CHEMICALS CORP	375,000.00	382,433.43
NOVELIS CORP	475,000.00	502,383.75
NRG ENERGY INC	500,000.00	541,963.75
NRG ENERGY INC	150,000.00	160,473.37
NUFARM AUSTRALIA/AMERICA	225,000.00	221,703.18
NUSTAR LOGISTICS LP	150,000.00	159,281.10
NWH ESCROW CORP	300,000.00	154,875.00
OASIS PETROLEUM INC	700,000.00	652,750.00
OCI NV	200,000.00	208,000.00
OLIN CORP	200,000.00	208,995.00
OPEN TEXT CORP	175,000.00	187,057.93
OUTFRONT MEDIA CAP LLC/C	250,000.00	260,893.12
OUTFRONT MEDIA CAP LLC/C	150,000.00	151,875.00
OWENS-BROCKWAY	800,000.00	827,994.40
OWENS-BROCKWAY	350,000.00	371,989.62
OWENS-BROCKWAY	400,000.00	428,500.00
OXFORD FIN LLC/CO-ISS II	100,000.00	103,406.20
PANTHER BF AGGREGATOR 2	150,000.00	159,656.40
PAR PHARMACEUTICAL INC	425,000.00	410,002.81
PARAMOUNT RESOURCES LTD	300,000.00	307,999.50
PARK-OHIO INDUSTRIES INC	400,000.00	394,539.00
PARKLAND FUEL CORP	200,000.00	215,179.00
PARSLEY ENERGY LLC/FINAN	150,000.00	154,937.25
PARSLEY ENERGY LLC/FINAN	175,000.00	178,387.12
PARSLEY ENERGY LLC/FINAN	175,000.00	182,468.12
PATRICK INDUSTRIES INC	275,000.00	292,861.93
PATTERN ENERGY GROUP INC	175,000.00	180,847.62
PBF LOGISTICS LP/FINANCE	750,000.00	776,370.00
PDC ENERGY INC	325,000.00	324,322.37
PERFORMANCE FOOD GROUP I	400,000.00	426,009.99
PGT ESCROW ISSUER INC	150,000.00	160,552.12
PILGRIM'S PRIDE CORP	275,000.00	286,429.00
PILGRIM'S PRIDE CORP	300,000.00	325,071.75

PLASTIPAK HOLDINGS INC	125,000.00	104,062.50
POST HOLDINGS INC	525,000.00	549,844.31
POST HOLDINGS INC	450,000.00	480,295.12
POST HOLDINGS INC	375,000.00	402,120.93
PRECISION DRILLING CORP	150,000.00	127,092.75
PRESTIGE BRANDS INC	300,000.00	310,500.00
PRIME SECSRVC BRW/FINANC	150,000.00	156,186.00
QORVO INC	400,000.00	425,249.60
QORVO INC	150,000.00	154,406.25
QTS LP/FINANCE	225,000.00	232,968.37
QUEBECOR MEDIA INC	250,000.00	271,832.50
RADIAN GROUP INC	225,000.00	237,187.12
RADIAN GROUP INC	100,000.00	105,254.75
RANGE RESOURCES CORP	175,000.00	168,492.10
RANGE RESOURCES CORP	75,000.00	70,897.50
RANGE RESOURCES CORP	500,000.00	431,245.00
REALOGY GROUP/CO-ISSUER	300,000.00	304,785.00
REALOGY GROUP/CO-ISSUER	425,000.00	418,625.00
REALOGY GROUP/CO-ISSUER	100,000.00	102,502.50
RESIDEO FUNDING INC	125,000.00	122,034.37
ROSE ROCK MIDSTREAM/FIN	1,075,000.00	1,092,804.15
ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	800,000.00	786,080.00
SANJEL CORP ZCPN	15,000.00	0.00
SBA COMMUNICATIONS CORP	525,000.00	533,527.57
SBA COMMUNICATIONS CORP	400,000.00	408,497.20
SBA COMMUNICATIONS CORP	200,000.00	208,839.00
SCHWEITZER-MAUDUIT INTL	175,000.00	189,060.81
SCOTTS MIRACLE-GRO CO	175,000.00	177,620.62
SEALED AIR CORP	375,000.00	405,468.75
SEALED AIR CORP	225,000.00	228,585.93
SELECT MEDICAL CORP	100,000.00	107,187.40
SEMGROUP CORP	225,000.00	247,505.62
SENSATA TECH UK FIN CO	689,000.00	739,691.45
SERVICE CORP INTL	875,000.00	965,037.50
SERVICE CORP INTL	125,000.00	133,753.12
SESI LLC	50,000.00	38,375.00
SESI LLC	125,000.00	73,489.37
SEVEN GENERATIONS ENERGY	275,000.00	269,497.25
SHEA HOMES LP/FNDG CP	1,150,000.00	1,178,893.75
SHEA HOMES LP/FNDG CP	150,000.00	156,062.25
SINCLAIR TELEVISION GROU	150,000.00	156,946.12
SINCLAIR TELEVISION GROU	375,000.00	377,942.81
SINCLAIR TELEVISION GROU	125,000.00	124,843.75

SIRIUS XM RADIO INC	175,000.00	178,717.52
SIRIUS XM RADIO INC	300,000.00	315,300.00
SIRIUS XM RADIO INC	175,000.00	184,359.87
SIRIUS XM RADIO INC	775,000.00	837,019.37
SLM CORP	167,000.00	169,791.40
SLM CORP	400,000.00	432,244.00
SM ENERGY CO	950,000.00	857,705.12
SONIC AUTOMOTIVE INC	671,000.00	682,809.60
SONIC AUTOMOTIVE INC	200,000.00	209,099.50
SOUTHWESTERN ENERGY CO	271,000.00	226,959.79
SPCM SA	400,000.00	415,076.00
SPECTRUM BRANDS INC	175,000.00	182,873.25
SPECTRUM BRANDS INC	75,000.00	76,807.31
SPEEDWAY MOT/SPEEDWAY FD	100,000.00	100,375.00
SPRINGLEAF FINANCE CORP	150,000.00	164,998.50
SPRINGLEAF FINANCE CORP	500,000.00	574,420.00
SPRINGLEAF FINANCE CORP	800,000.00	927,500.00
SPRINGLEAF FINANCE CORP	200,000.00	223,339.50
SPRINGLEAF FINANCE CORP	100,000.00	104,000.00
SPRINT CAPITAL CORP	325,000.00	345,320.62
SPRINT CAPITAL CORP	1,250,000.00	1,479,718.75
SPRINT COMMUNICATIONS	225,000.00	257,695.20
SPRINT COMMUNICATIONS	350,000.00	368,375.00
SPRINT CORP	500,000.00	532,375.00
SPRINT CORP	150,000.00	163,875.00
SPRINT CORP	550,000.00	588,500.00
SPRINT CORP	125,000.00	135,784.37
SPRINT NEXTEL CORP	375,000.00	383,532.18
SPX FLOW INC	125,000.00	130,989.37
SPX FLOW INC	400,000.00	422,139.00
SRC ENERGY INC	225,000.00	224,154.00
SS&C TECHNOLOGIES INC	625,000.00	669,921.87
STANDARD INDUSTRIES INC	150,000.00	157,873.50
STANDARD INDUSTRIES INC	275,000.00	283,201.18
STAPLES INC	650,000.00	680,468.10
STAPLES INC	500,000.00	519,362.50
STAR MERGER SUB INC	200,000.00	219,375.00
STATION CASINOS LLC	125,000.00	127,500.00
STEVENS HOLDING CO INC	100,000.00	108,534.75
SUBURBAN PROPANE PARTNRS	250,000.00	256,247.50
SUMMIT MATERIALS LLC/FIN	825,000.00	845,967.37
SUMMIT MATERIALS LLC/FIN	100,000.00	108,034.75

SUMMIT MID HLDS LLC / FI	25,000.00	21,695.30
SUMMIT MID HLDS LLC / FI	100,000.00	75,291.50
SUMMIT MIDSTREAM PARTNER	75,000.00	41,678.62
SUNOCO LP/FINANCE CORP	275,000.00	283,061.62
SUNOCO LP/FINANCE CORP	475,000.00	493,571.31
SUNOCO LP/FINANCE CORP	300,000.00	315,696.75
SUPERIOR PLUS/GEN PRTRN	75,000.00	80,723.06
T-MOBILE USA INC	125,000.00	128,905.37
T-MOBILE USA INC	125,000.00	129,530.00
T-MOBILE USA INC	275,000.00	283,201.18
T-MOBILE USA INC	475,000.00	500,543.12
TALEN ENERGY SUPPLY LLC	125,000.00	105,290.31
TALEN ENERGY SUPPLY LLC	250,000.00	255,605.62
TALEN ENERGY SUPPLY LLC	125,000.00	123,147.18
TALLGRASS NRG PRTRN/FIN	200,000.00	194,232.00
TALLGRASS NRG PRTRN/FIN	150,000.00	145,873.50
TARGA RESOURCES PARTNERS	200,000.00	205,482.00
TARGA RESOURCES PARTNERS	400,000.00	420,250.40
TARGA RESOURCES PARTNERS	100,000.00	107,252.50
TARGA RESOURCES PARTNERS	400,000.00	397,070.99
TARGA RESOURCES PARTNERS	200,000.00	218,339.50
TARGA RESOURCES PARTNERS	175,000.00	176,093.75
TASEKO MINES LTD	375,000.00	319,570.50
TAYLOR MORRISON COMM	150,000.00	160,927.12
TAYLOR MORRISON COMM/MON	225,000.00	242,530.87
TEGNA INC	225,000.00	226,406.25
TELECOM ITALIA CAPITAL	150,000.00	176,265.00
TELESAT CANADA/TELESAT L	150,000.00	152,062.50
TELESAT CANADA/TELESAT L	100,000.00	103,252.50
TENET HEALTHCARE CORP	500,000.00	516,223.75
TENET HEALTHCARE CORP	125,000.00	129,843.75
TENET HEALTHCARE CORP	125,000.00	129,375.00
TENET HEALTHCARE CORP	275,000.00	286,409.75
TENET HEALTHCARE CORP	350,000.00	375,812.50
TENET HEALTHCARE CORP	775,000.00	809,875.00
TENNANT CO	450,000.00	470,999.25
TENNECO INC	200,000.00	171,995.00
TERRAFORM POWER OPERATIN	225,000.00	230,346.00
TERRAFORM POWER OPERATIN	175,000.00	182,423.93
TERRAFORM POWER OPERATIN	175,000.00	176,973.12
TMS INTERNATIONAL CORP	175,000.00	149,260.12
TOPBUILD ESCROW CORP	200,000.00	209,569.50
TPC GROUP INC	525,000.00	518,432.25

TRANSDIGM INC	725,000.00	778,922.60
TRANSDIGM INC	300,000.00	325,446.75
TRANSDIGM INC	1,200,000.00	1,198,500.00
TRANSMONTAIGE PARTNERS	125,000.00	119,956.56
TRI POINTE GROUP INC	200,000.00	208,069.50
TRI POINTE HOLDINGS INC	100,000.00	108,291.50
TRINSEO OP / TRINSEO FIN	500,000.00	500,625.00
TRIUMPH GROUP INC	525,000.00	523,851.30
TRIUMPH GROUP INC	50,000.00	52,499.50
TRIVIUM PACKAGING FIN	200,000.00	210,374.80
TRONOX FINANCE PLC	500,000.00	498,957.50
TTM TECHNOLOGIES INC	175,000.00	180,322.62
TWIN RIVER WORLDWIDE HLD	150,000.00	154,072.87
UNITED CONTINENTAL HLDGS	450,000.00	466,492.50
UNITED CONTINENTAL HLDGS	150,000.00	155,062.50
UNITED RENTALS NORTH AM	275,000.00	285,582.00
UNITED RENTALS NORTH AM	350,000.00	376,066.25
UNITED RENTALS NORTH AM	300,000.00	329,571.75
UNITED RENTALS NORTH AM	125,000.00	134,065.62
UNITED RENTALS NORTH AM	275,000.00	287,725.62
UNIVAR SOLUTIONS USA INC	175,000.00	178,937.50
UNIVISION COMMUNICATIONS	375,000.00	370,976.25
UNIVISION COMMUNICATIONS	450,000.00	433,687.50
UPC HOLDING BV	400,000.00	404,929.00
US CONCRETE INC	350,000.00	362,684.00
US FOODS INC	700,000.00	720,118.00
USA COM PART/USA COM FIN	200,000.00	205,625.20
USA COM PART/USA COM FIN	200,000.00	202,505.00
VALEANT PHARMACEUTICALS	800,000.00	911,000.00
VENATOR FIN SARL/VENATOR	175,000.00	160,781.25
VIASAT INC	150,000.00	160,285.87
VICI PROPERTIES / NOTE	150,000.00	153,000.00
VICI PROPERTIES / NOTE	100,000.00	103,250.00
VIDEOTRON LTD	150,000.00	163,873.50
VIKING CRUISES LTD	75,000.00	78,218.62
VIPER ENERGY PARTNERS LP	375,000.00	390,712.50
VIRGIN MEDIA FINANCE PLC	750,000.00	775,541.25
VIRGIN MEDIA SECURED FIN	400,000.00	420,010.00
VISTRA OPERATIONS CO LLC	275,000.00	277,807.69
VISTRA OPERATIONS CO LLC	450,000.00	474,670.12
VISTRA OPERATIONS CO LLC	500,000.00	523,661.25
VISTRA OPERATIONS CO LLC	400,000.00	417,090.00

	VIZIENT INC	75,000.00	81,566.06
	VOC ESCROW LTD	75,000.00	78,619.50
	VODAFONE GROUP PLC	775,000.00	897,958.09
	VTR FINANCE BV	180,000.00	184,574.70
	WABASH NATIONAL CORP	125,000.00	124,114.37
	WARRIOR MET COAL LLC	308,000.00	309,824.90
	WASTE PRO USA INC	100,000.00	103,732.25
	WEEKLEY HOMES LLC/ FINAN	225,000.00	232,405.87
	WELLCARE HEALTH PLANS	175,000.00	187,656.43
	WESTERN DIGITAL CORP	200,000.00	205,875.00
	WHITING PETROLEUM CORP	325,000.00	189,320.62
	WILLIAM LYON HOMES INC	14,000.00	14,026.25
	WILLIAM LYON HOMES INC	150,000.00	156,999.75
	WILLIAM LYON HOMES INC	225,000.00	232,405.87
	WILLIAM LYON HOMES INC	125,000.00	134,105.93
	WILLIAMS SCOTSMAN INTL	275,000.00	287,460.80
	WILLIAMS SCOTSMAN INTL	450,000.00	474,000.75
	WMG ACQUISITION CORP	325,000.00	334,072.37
	WMG ACQUISITION CORP	125,000.00	132,230.93
	WPX ENERGY INC	525,000.00	539,601.30
	WPX ENERGY INC	150,000.00	154,931.62
	WPX ENERGY INC	150,000.00	151,808.25
	WR GRACE & CO-CONN	225,000.00	232,818.75
	WYNN LAS VEGAS LLC/CORP	350,000.00	366,187.50
	WYNN RESORTS FINANCE LLC	125,000.00	132,265.62
	XPO LOGISTICS INC	394,000.00	401,636.90
	XPO LOGISTICS INC	700,000.00	723,618.00
	ZAYO GROUP LLC/ZAYO CAP	250,000.00	257,185.00
	ZAYO GROUP LLC/ZAYO CAP	650,000.00	671,118.50
	ZAYO GROUP LLC/ZAYO CAP	450,000.00	459,156.37
	ZIGGO BOND CO BV	690,000.00	722,652.52
	ZIGGO BOND FINANCE BV	200,000.00	206,583.00
	ZIGGO BV	200,000.00	204,714.50
小計	銘柄数：698	218,756,000.00	222,703,154.22 (24,232,330,210)
	組入時価比率：95.7%		100.0%
合計			24,232,330,210 (24,232,330,210)

(注1)外貨建有価証券については、通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注3)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

種類	2019年12月 6日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
		うち1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	87,096,000	-	87,024,000	72,000
米ドル	87,096,000	-	87,024,000	72,000
合計	87,096,000	-	87,024,000	72,000

(注) 時価の算定方法

1 為替予約取引

1) 計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2) 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものはございません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）

2019年12月30日現在

資産総額	12,990,836,121円
負債総額	6,434,049,947円
純資産総額（ - ）	6,556,786,174円
発行済口数	5,839,128,454口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1229円

ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）

2019年12月30日現在

資産総額	7,509,952,379円
負債総額	29,157,434円
純資産総額（ - ）	7,480,794,945円
発行済口数	6,624,671,044口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1292円

（参考）ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド

2019年12月30日現在

資産総額	25,922,590,738円
負債総額	62,300,422円
純資産総額（ - ）	25,860,290,316円
発行済口数	3,211,578,775口
1口当たり純資産額（ / ）	8.0522円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 受益証券の名義書換えの事務等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券か

ら記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

委託者は、上記の振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取扱い

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1)資本金の額

2020年1月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2)会社の機構

(a)会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

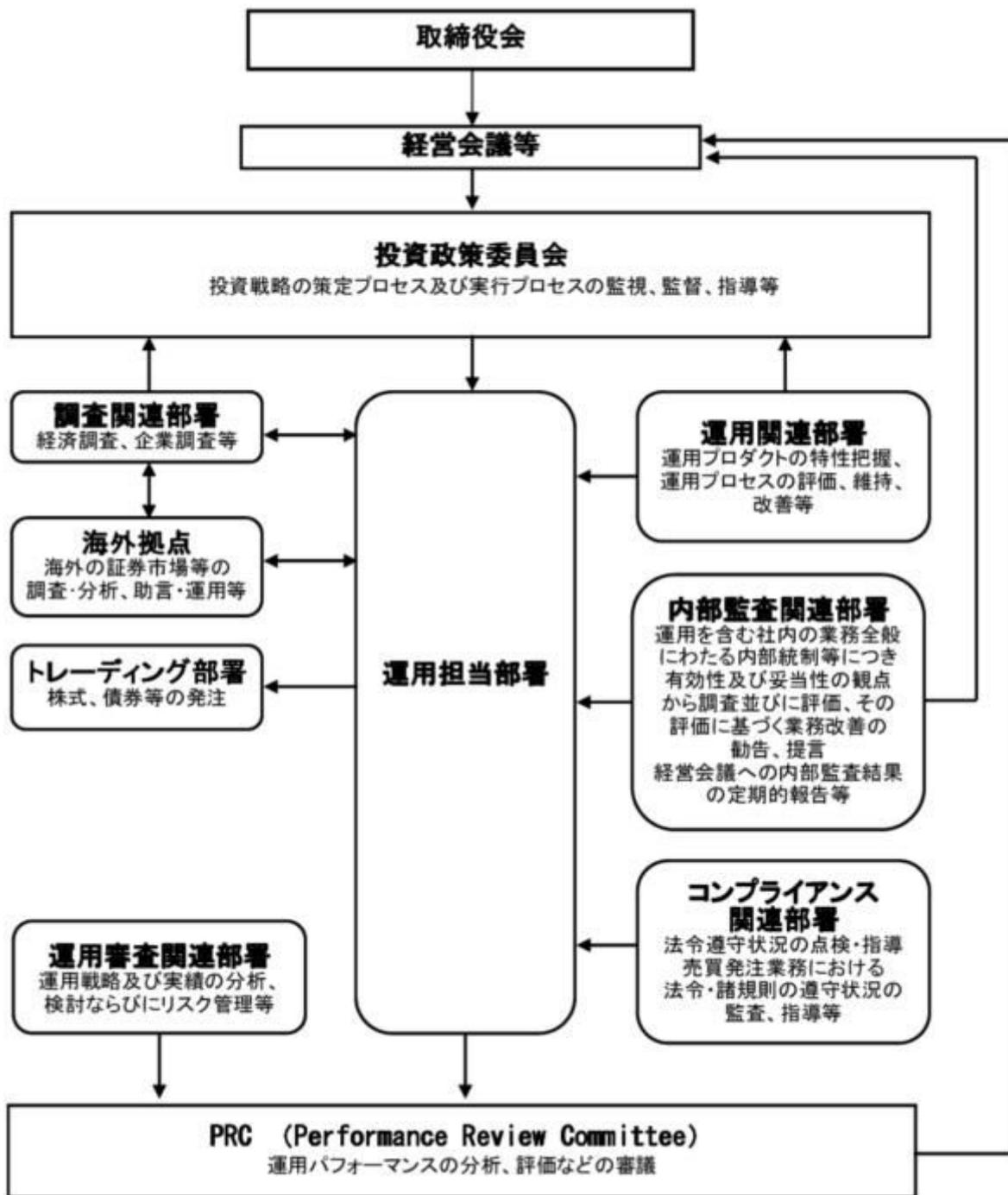
代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

監査等委員会

監査等委員である取締役3名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2019年12月30日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
----	----	------------

追加型株式投資信託	1,001	30,220,515
単位型株式投資信託	181	921,877
追加型公社債投資信託	14	5,779,652
単位型公社債投資信託	445	1,714,679
合計	1,641	38,636,722

3【委託会社等の経理状況】

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務諸表ならびに中間会計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

区分	注記 番号	前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金・預金			919		1,562
金銭の信託			47,936		45,493
有価証券			22,600		19,900
前払金			0		-
前払費用			26		27
未収入金			464		500
未収委託者報酬			24,059		25,246
未収運用受託報酬			6,764		5,933
その他			181		269
貸倒引当金			15		15
流動資産計			102,937		98,917
固定資産					

有形固定資産			874		714
建物	2	348		320	
器具備品	2	525		393	
無形固定資産			7,157		6,438
ソフトウェア		7,156		6,437	
その他		0		0	
投資その他の資産			13,825		18,608
投資有価証券		1,184		1,562	
関係会社株式		9,033		12,631	
従業員長期貸付金		36		-	
長期差入保証金		54		235	
長期前払費用		36		22	
前払年金費用		2,350		2,001	
繰延税金資産		3,074		2,694	
その他		168		168	
貸倒引当金		0		-	
投資損失引当金		-		707	
固定資産計			23,969		25,761
資産合計			126,906		124,679

区分	注記 番号	前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			133		145
未払金	1		17,853		16,709
未払収益分配金		1		0	
未払償還金		31		25	
未払手数料		7,884		7,724	
関係会社未払金		7,930		7,422	
その他未払金		2,005		1,535	
未払費用	1		12,441		11,704
未払法人税等			2,241		1,560
前受収益			33		29
賞与引当金			4,626		3,792
流動負債計			37,329		33,942
固定負債					
退職給付引当金			2,938		3,219
時効後支払損引当金			548		558
固定負債計			3,486		3,777
負債合計			40,816		37,720
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			55,168		56,014
利益準備金		685		685	

その他利益剰余金		54,483		55,329
別途積立金		24,606		24,606
繰越利益剰余金		29,876		30,723
評価・換算差額等			11	33
その他有価証券評価差額金			11	33
純資産合計			86,090	86,958
負債・純資産合計			126,906	124,679

(2) 【損益計算書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業収益					
委託者報酬			115,907		119,196
運用受託報酬			26,200		21,440
その他営業収益			338		355
営業収益計			142,447		140,992
営業費用					
支払手数料			45,252		42,675
広告宣伝費			1,079		1,210
公告費			0		0
調査費			30,516		30,082
調査費		5,830		5,998	
委託調査費		24,685		24,083	
委託計算費			1,376		1,311
営業雑経費			5,464		5,435
通信費		125		92	
印刷費		966		970	
協会費		79		86	
諸経費		4,293		4,286	
営業費用計			83,689		80,715
一般管理費					
給料			11,716		11,113
役員報酬		425		379	
給料・手当		6,856		7,067	
賞与		4,433		3,666	
交際費			132		107
旅費交通費			482		514
租税公課			1,107		1,048
不動産賃借料			1,221		1,223
退職給付費用			1,110		1,474
固定資産減価償却費			2,706		2,835
諸経費			9,131		10,115
一般管理費計			27,609		28,433
営業利益			31,148		31,843

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	4,031		6,538	
受取利息		4		0	
その他		362		424	
営業外収益計			4,398		6,964
営業外費用					
支払利息		2		1	
金銭の信託運用損		312		489	
時効後支払損引当金繰入額		13		43	
為替差損		46		34	
その他		31		17	
営業外費用計			405		585
經常利益			35,141		38,222
特別利益					
投資有価証券等売却益		20		20	
関係会社清算益	3	-		29	
株式報酬受入益		75		85	
特別利益計			95		135
特別損失					
投資有価証券等評価損		2		938	
関係会社株式評価損		-		161	
固定資産除却損	2	58		310	
投資損失引当金繰入額		-		707	
特別損失計			60		2,118
税引前当期純利益			35,176		36,239
法人税、住民税及び事業税			10,775		10,196
法人税等調整額			439		370
当期純利益			24,840		25,672

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		利益 剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金			
						別 途 積立金	繰 越 利益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,635	55,927	86,837

当期変動額									
剰余金の配当							25,598	25,598	25,598
当期純利益							24,840	24,840	24,840
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	758	758	758
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	29,876	55,168	86,078

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	41	41	86,878
当期変動額			
剰余金の配当			25,598
当期純利益			24,840
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	29	29	29
当期変動額合計	29	29	788
当期末残高	11	11	86,090

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		利益 剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金 別途 積立金	繰 越 利益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	29,876	55,168	86,078
当期変動額									
剰余金の配当							24,826	24,826	24,826
当期純利益							25,672	25,672	25,672
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	846	846	846
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,723	56,014	86,924

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	11	11	86,090
当期変動額			
剰余金の配当			24,826
当期純利益			25,672
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	21	21	21
当期変動額合計	21	21	868
当期末残高	33	33	86,958

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの ... 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの ... 移動平均法による原価法</p>								
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法								
3．固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table> <tr> <td>建物</td> <td>38～50年</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>8～15年</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td>20年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～15年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>	建物	38～50年	附属設備	8～15年	構築物	20年	器具備品	4～15年
建物	38～50年								
附属設備	8～15年								
構築物	20年								
器具備品	4～15年								
4．引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。</p>								

<p>5. 消費税等の会計処理方法</p> <p>6. 連結納税制度の適用</p>	<p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>(5) 投資損失引当金 子会社等に対する投資に係る損失に備えるため、当該会社の財政状態等を勘案して必要額を計上しております。</p> <p>消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理していません。</p> <p>連結納税制度を適用しております。</p>
---	--

【未適用の会計基準等】

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日）

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

【表示方法の変更に関する注記】

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期

首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」2,111百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」3,074百万円に含めて表示しております。

[注記事項]

貸借対照表関係

前事業年度末 (2018年3月31日)	当事業年度末 (2019年3月31日)
1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用 1,781百万円	1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用 1,434百万円
2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物 708百万円 器具備品 3,491 合計 4,200	2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物 736百万円 器具備品 3,106 合計 3,842

損益計算書関係

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 4,026百万円 支払利息 2	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 6,531百万円 支払利息 1
2. 固定資産除却損 建物 4百万円 器具備品 0 ソ フ ト ウ エ 53 ア 合計 58	2. 固定資産除却損 建物 -百万円 器具備品 3 ソ フ ト ウ エ 307 ア 合計 310
	3. 関係会社清算益 関係会社清算益は、関係会社の清算にともなう清算配当です。

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2017年5月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	25,598百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,970円
基準日	2017年3月31日
効力発生日	2017年6月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2018年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,826百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,820円
基準日	2018年3月31日
効力発生日	2018年6月25日

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2018年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,826百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,820円
基準日	2018年3月31日
効力発生日	2018年6月25日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	25,650百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,980円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2019年6月28日

金融商品関係

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2018年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	919	919	-
(2)金銭の信託	47,936	47,936	-
(3)未収委託者報酬	24,059	24,059	-
(4)未収運用受託報酬	6,764	6,764	-
(5)有価証券及び投資有価証券	22,600	22,600	-

その他有価証券	22,600	22,600	-
資産計	102,279	102,279	-
(6)未払金	17,853	17,853	-
未払収益分配金	1	1	-
未払償還金	31	31	-
未払手数料	7,884	7,884	-
関係会社未払金	7,930	7,930	-
その他未払金	2,005	2,005	-
(7)未払費用	12,441	12,441	-
(8)未払法人税等	2,241	2,241	-
負債計	32,536	32,536	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,184百万円、関係会社株式9,033百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	919	-	-	-
金銭の信託	47,936	-	-	-
未収委託者報酬	24,059	-	-	-
未収運用受託報酬	6,764	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	22,600	-	-	-
合計	102,279	-	-	-

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約

に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	1,562	1,562	-
(2)金銭の信託	45,493	45,493	-
(3)未収委託者報酬	25,246	25,246	-
(4)未収運用受託報酬	5,933	5,933	-
(5)有価証券及び投資有価証券	19,900	19,900	-
その他有価証券	19,900	19,900	-
資産計	98,136	98,136	-
(6)未払金	16,709	16,709	-
未払収益分配金	0	0	-
未払償還金	25	25	-
未払手数料	7,724	7,724	-
関係会社未払金	7,422	7,422	-
その他未払金	1,535	1,535	-
(7)未払費用	11,704	11,704	-
(8)未払法人税等	1,560	1,560	-
負債計	29,974	29,974	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっており

ます。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,562百万円、関係会社株式12,631百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について1,100百万円（投資有価証券938百万円、関係会社株式161百万円）減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	1,562	-	-	-
金銭の信託	45,493	-	-	-
未収委託者報酬	25,246	-	-	-
未収運用受託報酬	5,933	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	19,900	-	-	-
合計	98,136	-	-	-

有価証券関係

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1．売買目的有価証券(2018年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(2018年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(2018年3月31日)

該当事項はありません。

4．その他有価証券(2018年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	22,600	22,600	-
小計	22,600	22,600	-
合計	22,600	22,600	-

5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1．売買目的有価証券(2019年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(2019年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(2019年3月31日)

該当事項はありません。

4．その他有価証券(2019年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			

譲渡性預金	19,900	19,900	-
小計	19,900	19,900	-
合計	19,900	19,900	-

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

退職給付関係

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	19,546 百万円
勤務費用	929
利息費用	167
数理計算上の差異の発生額	1,415
退職給付の支払額	660
その他	0
退職給付債務の期末残高	21,398
(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表	
年金資産の期首残高	16,572 百万円
期待運用収益	414
数理計算上の差異の発生額	395
事業主からの拠出額	510
退職給付の支払額	518
年金資産の期末残高	17,373
(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表	
積立型制度の退職給付債務	18,163 百万円
年金資産	17,373
	790
非積立型制度の退職給付債務	3,235
未積立退職給付債務	4,025
未認識数理計算上の差異	3,768
未認識過去勤務費用	331
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	588
退職給付引当金	2,938
前払年金費用	2,350
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	588

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	929 百万円
利息費用	167
期待運用収益	414
数理計算上の差異の費用処理額	244
過去勤務費用の費用処理額	40
確定給付制度に係る退職給付費用	887

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	47%
株式	41%
生保一般勘定	12%
その他	0%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	0.9%
退職一時金制度の割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、195百万円でした。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企業年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	21,398 百万円
勤務費用	951
利息費用	179
数理計算上の差異の発生額	1,672
退職給付の支払額	737
過去勤務費用の発生額	71
その他	15
退職給付債務の期末残高	23,551

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	17,373 百万円
期待運用収益	434
数理計算上の差異の発生額	241
事業主からの拠出額	483
退職給付の支払額	579
年金資産の期末残高	17,469

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金

及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	20,181 百万円
年金資産	17,469
	2,712
非積立型制度の退職給付債務	3,369
未積立退職給付債務	6,082
未認識数理計算上の差異	5,084
未認識過去勤務費用	220
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,218
退職給付引当金	3,219
前払年金費用	2,001
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,218

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	951 百万円
利息費用	179
期待運用収益	434
数理計算上の差異の費用処理額	598
過去勤務費用の費用処理額	38
確定給付制度に係る退職給付費用	1,255

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	47%
株式	41%
生保一般勘定	12%
その他	0%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.7%
退職一時金制度の割引率	0.4%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、197百万円でした。

税効果会計関係

前事業年度末 (2018年3月31日)	当事業年度末 (2019年3月31日)
------------------------	------------------------

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,434	賞与引当金	1,175
退職給付引当金	910	退職給付引当金	998
投資有価証券評価減	417	投資有価証券評価減	708
未払事業税	409	未払事業税	288
投資損失引当金	-	投資損失引当金	219
ゴルフ会員権評価減	207	ゴルフ会員権評価減	192
時効後支払損引当金	169	時効後支払損引当金	172
減価償却超過額	171	減価償却超過額	171
子会社株式売却損	148	子会社株式売却損	148
未払社会保険料	107	未払社会保険料	82
その他	566	その他	466
繰延税金資産小計	4,543	繰延税金資産小計	4,625
評価性引当額	735	評価性引当額	1,295
繰延税金資産合計	3,808	繰延税金資産合計	3,329
繰延税金負債		繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	5	その他有価証券評価差額金	15
前払年金費用	728	前払年金費用	620
繰延税金負債合計	733	繰延税金負債合計	635
繰延税金資産の純額	3,074	繰延税金資産の純額	2,694
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	31.0%	法定実効税率	31.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.1%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	3.4%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.6%
タックスヘイブン税制	1.8%	タックスヘイブン税制	2.6%
外国税額控除	0.2%	外国税額控除	0.6%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.3%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.3%
その他	0.4%	その他	1.3%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.3%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%

セグメント情報等

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

関連当事者情報

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492 (百万円)	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借及び購入等 役員の兼任	資金の借入(*1)	3,000	短期借入金	-
							資金の返済	3,000		
							借入金利息の支払	2	未払費用	-

(イ) 子会社等
該当はありません。

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	37,482	未払手数料	6,691

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、
ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492 (百万円)	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借 及び購入等 役員の兼任	資金の借入(*1)	3,000	短期借入金	-
							資金の返済	3,000		
							借入金利息の支払	1	未払費用	-

(イ) 子会社等

該当はありません。

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	34,646	未払手数料	6,410

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

1株当たり情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	16,714円33銭	1株当たり純資産額	16,882円89銭
1株当たり当期純利益	4,822円68銭	1株当たり当期純利益	4,984円30銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	24,840百万円	損益計算書上の当期純利益	25,672百万円
普通株式に係る当期純利益	24,840百万円	普通株式に係る当期純利益	25,672百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

中間財務諸表

中間貸借対照表

		2019年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		2,212
金銭の信託		42,268
有価証券		5,800
未収委託者報酬		25,161
未収運用受託報酬		4,788
その他		957
貸倒引当金		15
流動資産計		81,173
固定資産		
有形固定資産	1	679
無形固定資産		5,940
ソフトウェア		5,939
その他		0
投資その他の資産		17,485
投資有価証券		1,362
関係会社株式		12,869
前払年金費用		1,736
繰延税金資産		2,096
その他		420
投資損失引当金		999
固定資産計		24,105
資産合計		105,278

		2019年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
未払金		11,888
未払収益分配金		0
未払償還金		25
未払手数料		7,472
関係会社未払金		3,649
その他未払金	2	739
未払費用		9,291
未払法人税等		1,661
賞与引当金		2,294
その他		181
流動負債計		25,317
固定負債		
退職給付引当金		3,267
時効後支払損引当金		565
固定負債計		3,832
負債合計		29,150
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		17,180
資本剰余金		13,729
資本準備金		11,729
その他資本剰余金		2,000
利益剰余金		45,212
利益準備金		685
その他利益剰余金		44,527
別途積立金		24,606
繰越利益剰余金		19,920
評価・換算差額等		6
その他有価証券評価差額金		6
純資産合計		76,128

負債・純資産合計		105,278
----------	--	---------

中間損益計算書

区分	注記 番号	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日 金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		58,947
運用受託報酬		8,401
その他営業収益		158
営業収益計		67,507
営業費用		
支払手数料		20,298
調査費		13,552
その他営業費用		3,856
営業費用計		37,706
一般管理費	1	14,394
営業利益		15,406
営業外収益	2	5,561
営業外費用	3	27
経常利益		20,940
特別利益	4	44
特別損失	5	410
税引前中間純利益		20,574
法人税、住民税及び事業税		5,116
法人税等調整額		610
中間純利益		14,847

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本剰余金		利益剰余金		株 主
			その他利益剰余金		

	資本金	資本準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	別途 積立金	繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	資本 合計
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,723	56,014	86,924
当中間期変動額									
剰余金の配当							25,650	25,650	25,650
中間純利益							14,847	14,847	14,847
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）									
当中間期変動額 合計	-	-	-	-	-	-	10,802	10,802	10,802
当中間期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	19,920	45,212	76,122

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	33	33	86,958
当中間期変動額			
剰余金の配当			25,650
中間純利益			14,847
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	27	27	27
当中間期変動額合計	27	27	10,830
当中間期末残高	6	6	76,128

[重要な会計方針]

1 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式...移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの...中間決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの...移動平均法による原価法
2 運用目的の金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法によっております。
3 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。 (2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

<p>4 引当金の計上基準</p>	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。</p> <p>退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>(5) 投資損失引当金 子会社等に対する投資に係る損失に備えるため、当該会社の財政状態等を勘案して必要額を計上しております。</p>
<p>5 消費税等の会計処理</p>	<p>消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。</p>
<p>6 連結納税制度の適用</p>	<p>連結納税制度を適用しております。</p>

[注記事項]

中間貸借対照表関係

2019年9月30日現在	
1 有形固定資産の減価償却累計額	3,881百万円
2 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。	

中間損益計算書関係

自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	
1 減価償却実施額 有形固定資産 無形固定資産	38百万円 1,145百万円

2	営業外収益のうち主要なもの		
	受取配当金	4,936百万円	
	金銭信託運用益	433百万円	
3	営業外費用のうち主要なもの		
	時効後支払損引当金繰入	10百万円	
	為替差損	6百万円	
4	特別利益の内訳		
	投資有価証券等売却益	1百万円	
	株式報酬受入益	43百万円	
5	特別損失の内訳		
	投資有価証券等評価損	119百万円	
	投資損失引当金繰入額	291百万円	

中間株主資本等変動計算書関係

自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日					
1	発行済株式に関する事項				
	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末
	普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株
2	配当に関する事項				
	配当金支払額				
	2019年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。				
	・普通株式の配当に関する事項				
	(1) 配当金の総額		25,650百万円		
	(2) 1株当たり配当額		4,980円		
	(3) 基準日		2019年3月31日		
	(4) 効力発生日		2019年6月28日		

金融商品関係

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

2019年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	2,212	2,212	-
(2)金銭の信託	42,268	42,268	-
(3)未収委託者報酬	25,161	25,161	-
(4)未収運用受託報酬	4,788	4,788	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	5,800	5,800	-
資産計	80,231	80,231	-
(6)未払金	11,888	11,888	-

未払収益分配金	0	0	-
未払償還金	25	25	-
未払手数料	7,472	7,472	-
関係会社未払金	3,649	3,649	-
その他未払金	739	739	-
(7)未払費用	9,291	9,291	-
(8)未払法人税等	1,661	1,661	-
負債計	22,841	22,841	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 未収委託者報酬、(4) 未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（中間貸借対照表計上額：投資有価証券1,362百万円、関係会社株式12,869百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

有価証券関係

当中間会計期間末（2019年9月30日）

1．満期保有目的の債券(2019年9月30日)

該当事項はありません。

2．子会社株式及び関連会社株式(2019年9月30日)

該当事項はありません。

3．その他有価証券(2019年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えない もの			
譲渡性預金	5,800	5,800	-
小計	5,800	5,800	-
合計	5,800	5,800	-

セグメント情報等

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2．関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

1 株当たり情報

自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日

1 株当たり純資産額	14,780円24銭
------------	------------

1 株当たり中間純利益	2,882円67銭
-------------	-----------

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益につきましては、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 1 株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

中間純利益	14,847百万円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益	14,847百万円
期中平均株式数	5,150千株

4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等(委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)又は子法人等(委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

(1)定款の変更

委託者の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2)訴訟事件その他の重要事項

委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1)受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 2019年12月末現在

(2)販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村証券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

* 2019年12月末現在

(3)運用の委託先

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
NOMURA CORPORATE RESEARCH AND ASSET MANAGEMENT INC. (ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク)	47,293,610.10 ドル	米国の1940年投資顧問法に基づき合衆国証券取引委員会(SEC)に登録され当該法律の定める範囲内で行なう投資顧問業およびそれに付随する一切の業務を営んでいます。

* 2019年9月末現在

2【関係業務の概要】

(1)受託者

ファンドの受託会社(受託者)として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。なお、当ファンドにかかる信託事務の処理の一部について日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託にかかる契約書類に基づいて所定の事務を行ないます。

<再信託受託者の概要>

名称 : 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
 資本金 : 10,000百万円
 事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2)販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いを行ない、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

(3)運用の委託先

委託会社から運用の指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用の指図を行ないます。

3【資本関係】

(持株比率5.0%以上を記載します。)

(1)受託者

該当事項はありません。

(2)販売会社

該当事項はありません。

(3)運用の委託先

該当事項はありません。

第3【その他】

- (1)目論見書の表紙にロゴ・マークや図案を採用すること、またファンドの形態などの記載をすることがあります。
- (2)目論見書の巻末に約款を掲載する場合があります。
- (3)届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表等を付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (4)目論見書は電子媒体等として使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。
- (5)目論見書は目論見書の別称として「投資信託説明書」と称して使用する場合があります。
- (6)目論見書の表紙裏等にインターネットホームページに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含む）も掲載し、当該アドレスにアクセスすることにより基準価額等の情報を入手できる旨を記載する場合があります。
- (7)目論見書に当該委託会社の金融商品取引業者登録番号、当該委託会社が運用する投資信託財産の合計純資産総額および目論見書の使用を開始する日を記載する場合があります。
- (8)目論見書に投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨を記載する場合があります。

独立監査人の監査報告書

2019年6月5日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 亀井 純子指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井 雄一郎指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 津村 健二郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第60期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年1月10日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 亀井純子
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 伊藤志保
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）の2018年12月7日から2019年12月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）の2019年12月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年1月10日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 亀井純子
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 伊藤志保
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）の2018年12月7日から2019年12月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）の2019年12月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年11月28日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 亀井純子指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井雄一郎指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 津村健二郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第61期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的な手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監

査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。